

VEGA

フラットパネルカラーテレビ
取扱説明書

KE-32TS2

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や
人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い
かたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお
読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

見る

テレビを見る	4
画質を選ぶ[画質モードボタン].....	8
映像の種類に合った音質を選ぶ[サラウンド].....	9
節電しながら見る[消費電力ボタン].....	10
ワイド画面を楽しむ	11
自動でワイド画面にする[オートワイド].....	11
手動でワイド画面に切り換える[ワイド切換ボタン].....	12
テレビにつないだ機器の画像を見る	13
英語字幕(クローズドキャプション)を見る	14

調整する/設定する

オートワイドの設定を変える	16
オートワイドの設定について	16
オートワイドを設定する/切る	18
画像のサイズ/位置を調整する	19
より細かく画質を調整する	21
音質を調整する	23
音声を切り換える[二重音声ボタン].....	25
より高度な設定をする	26

タイマー

時刻を設定する/表示する	29
自動で電源を切る[オフタイマーボタン].....	31
自動で電源を入/切する	32

テレビの接続と準備

テレビの転倒を防ぐために	34
付属品を確かめる	36
手順1：テレビアンテナをつなぐ	37
手順2：電源コードをつなぐ	38
手順3：チャンネルを設定する	39
自動設定する	39
手動設定する	41
数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ[10キー選局].....	42
ゴーストの少ない画像にする[ゴースト・リダクション].....	44

他機との接続

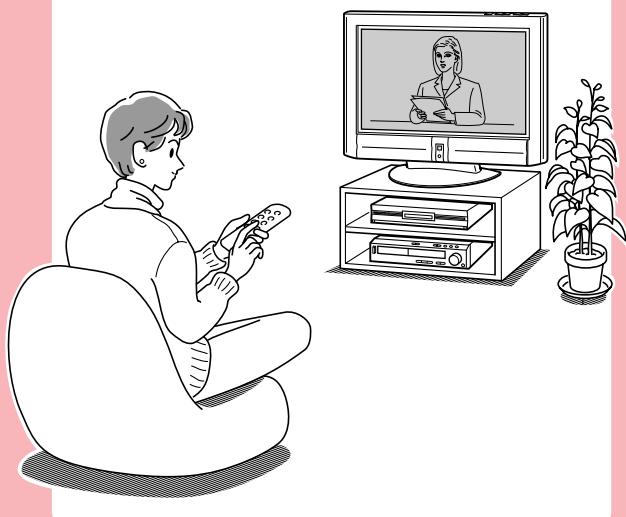
接続端子の名前とはたらき	46
ビデオをつなぐ	49
BS・110度CSデジタルチューナーをつなぐ	51
デジタルCSチューナーをつなぐ	52
テレビゲームをつなぐ	54
DVDプレーヤーをつなぐ	55
ハイビジョン機器をつなぐ	56
オーディオ機器をつなぐ	57
サブウーファーをつなぐ	58

その他

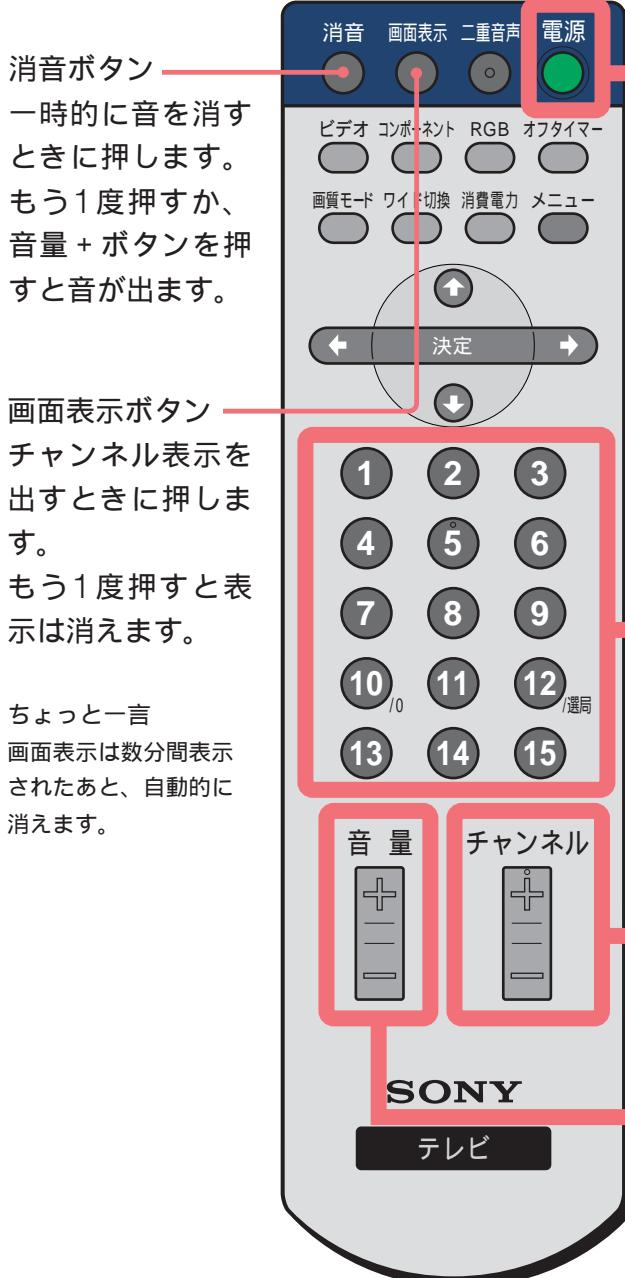
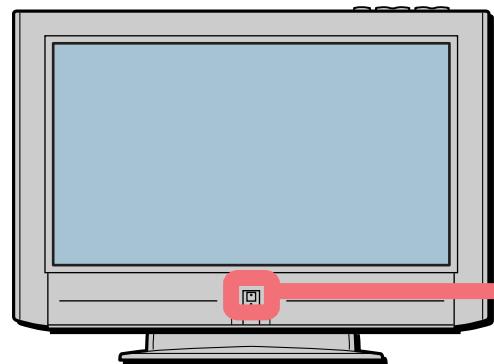
故障かな？と思ったら	59
自己診断表示	60
テレビの症状と対処のしかた	61
ディスプレイのお手入れについて	64
保証書とアフターサービス	64
主な仕様	65
用語集	66
映像信号フォーマットについて	67
各部の名前/Identifying parts and controls	68
メニュー一覧	70
索引	71

見る

ここでは、通常のテレビをはじめ、ビデオやDVDなどテレビにつないだ機器の映像を見るときの操作を説明しています。映像に合った画質/音質に設定したり、節電しながら見たり、ワイド画面で見たりするなど、多彩な機能の操作も説明しています。



テレビを見る



消音ボタン

一時的に音を消すときに押します。もう1度押すか、音量+ボタンを押すと音が出ます。

画面表示ボタン

チャンネル表示を出すときに押します。もう1度押すと表示は消えます。

ちょっと一言

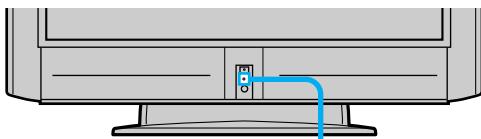
画面表示は数分間表示されたあと、自動的に消えます。

ちょっと一言

STANDBY/SLEEPランプが点灯しているときは、リモコンのチャンネル数字ボタンやチャンネル+/-ボタンを押すと自動的にテレビの電源も入ります。

1

テレビの電源を入れる。



STANDBY/SLEEPランプ
が赤く点灯しているときは
リモコンの電源ボタンを押
す。



STANDBY/SLEEPランプ
が消えているときは
テレビ本体のPOWERス
イッチを押す。

電源

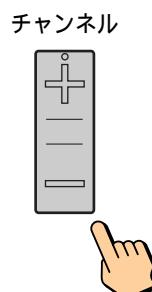


2

チャンネル数字ボタンでチャンネルを選ぶ。
チャンネル+/-ボタンでもチャンネルを選べます。



または



3

音量 +/- ボタンで音量を
調節する。

ちょっと一言

音量表示の横にある数値も調節の目安になります。

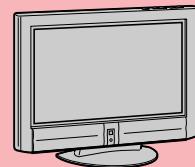
音量



画質/音質を選ぶときのヒント

本機の高画質/音質をより効果的にお楽しみい
ただくためには、下表のように、ご覧になる映
像に合わせた画質や音質などの設定/調整をお
すすめします。

テレビを見るときは



おすすめ 画質モード (☞8ページ)

「スタンダード」(☞8ページ)

一般的な映像に合わせた画質/音質になります。

画 質 (☞8ページ)

より細かく調整をしたいときは

画質モードボタンで「リビング」を選び、下記を参考にして調整します(☞21ページ)。

- 部屋の明るさに合わせて「明るさ」と「コントラスト」を調整します。
まず明るさを調整します。「明るさ」を上げすぎると黒色が白っぽくなります(黒浮き)ので、そういう範囲で調整してください。次にお好みの明るさになるように「コントラスト」を調整します。「コントラスト」を下げすぎると映像の明暗がつきにくくなります。このときは、「ガンマ補正」を上げて調整してください。
- 受信電波が弱いときなどは、ノイズのあるざらついた画面になります。このときは、「NR」を強くしてください。それでも気になるときは、「シャープネス」を下げてノイズが目立たないようにしてください。
- 映画以外の映像では「シネマドライブ」は「切」にしてください。

音 質 (☞9ページ)

より細かく調整をしたいときは

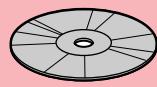
画質モードボタンで「リビング」を選び、下記を参考にして調整します(☞23ページ)。

- お好みに合わせて「高音」および「低音」の調整をしてください。
- 「サラウンド」の設定は、次のように選んでください。
 - ニュース番組のとき :「切」
 - 音楽番組のとき :「ホール」
 - モノラル音声で臨場感を出したいとき :「シミュレート」

その他の

- テレビ放送受信時にゴースト(山や高層建築物の反射波によって映像の右側に出る影)が出るときは「GR設定」を「入」にします(☞44ページ)。ただし、電波が強いときは「切」にします。
- 「パワーセービング」(☞28ページ)を設定しておくと、放送終了時に自動的に電源スタンバイ状態になります。おやすみ前のテレビの消し忘れを防げます。

レンタルビデオやDVDなどの映画を見るときは



「シアター」(☞8ページ)

部屋を暗くして映画を楽しむときに最適です。

より細かく調整をしたいときは

画質モードは「シアター」のまま、下記を参考にして調整します(☞21ページ)。

- 「シネマドライブ」を「自動」にすると、フィルム本来の滑らかな映像になります。
- レンタルビデオでノイズが多いときは、「NR」を強くしてください。それでも気になるときは、「シャープネス」を下げてノイズが目立たないようにしてください。
- DVDのときは、画面がざらつかない程度に「シャープネス」(☞21ページ)を上げると、DVDの高画質映像をシャープにお楽しみいただけます。

より細かく調整をしたいときは

画質モードは「シアター」のまま、下記を参考にして調整します(☞23ページ)。

- サラウンド処理されたソフトの場合、「サラウンド」は「TS」をおすすめします。

- 外国の映画で マークがあるビデオやDVDなどを見るときは、「クローズドキャプション」(☞14ページ)の設定をすると、英語などの外国語字幕を表示できます。
- DVDのメニュー画面など静止画の映像を長時間表示すると、画面に焼き付くことがあります。「明るさ」(☞22ページ)を下げたり、「スクリーンセーバー」(☞27ページ)の自動表示位置移動を「入」にすることで、焼き付にくくさせることができます。

画面の焼き付きや残像についてのご注意

下記のような画像を画面上に一定時間表示し続けると、部分的に焼き付きや残像が発生することがあります。特に「ダイナミック」(☞8ページ)などの高輝度な映像では起こりやすくなります。これはプラズマディスプレイパネルの特性上起こるものであり、以下の「焼き付きや残像を軽減させるために」を行うことにより、焼き付きや残像を軽減できます。

焼き付きや残像が発生しやすい状態

- 上下に帯が表示されるワイド画像(レターボックス映像)
- 画面横縦比4:3の映像
- ゲーム映像、DVDのメニュー画面、BS・110度CSデジタル/デジタルCSチューナー、ビデオデッキなどの映像に切り換えたときに表示されるチャンネル番号やメニュー、文字放送などの静止画像

焼き付きや残像を軽減させるために

- A** つないだ機器の画面表示を消す。

BS・110度CSデジタル/デジタルCSチューナー、ビデオデッキ、DVDプレーヤーなどの映像に切り換えたときに画面に表示されるチャンネル番号やメニューなどは、BS・110度CSデジタル/デジタルCSチューナー、ビデオデッキ、DVDプレーヤー側の画面表示操作で表示を消すことをおすすめします。詳しくは、お使いのBS・110度CSデジタル/デジタルCSチューナー、ビデオデッキ、DVDプレーヤーなどの取扱説明書をご覧ください。

- B** 画面いっぱいに映像を映す。

画面の焼き付きや残像が気になる場合、画面モードを「ワイドズーム」や「フル」(☞12ページ)に切り換えて映像を表示すると、画面の焼き付きや残像を軽減できます。

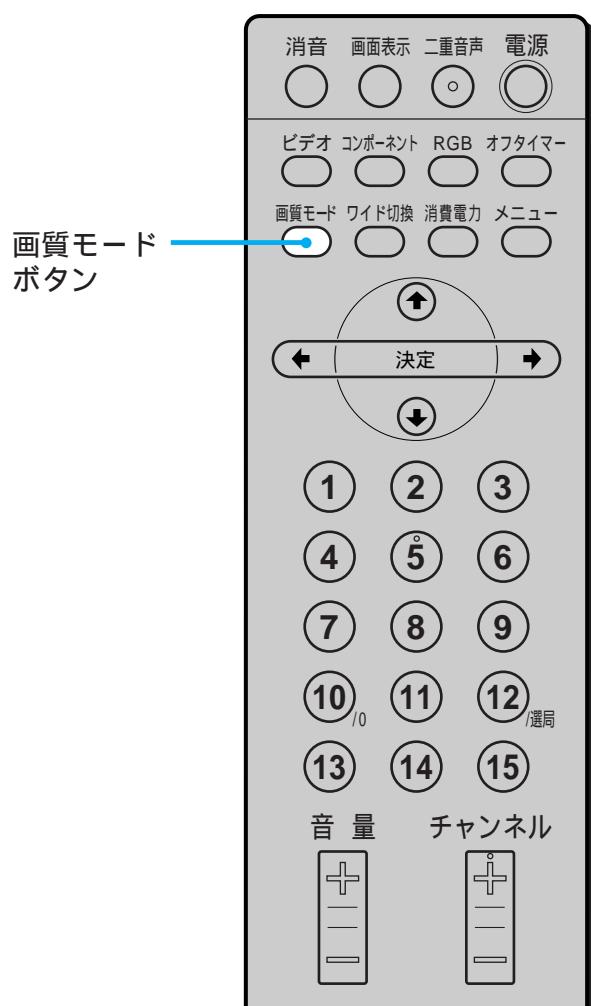
画質を選ぶ

[画質モードボタン]

画質モードボタンを押すだけで、映像の種類や部屋の明るさに合った映像を選べます。また、「リビング」や「シアター」、「AVプロ」を選ぶと、より細かく画質を調整できます(☞21ページ)。

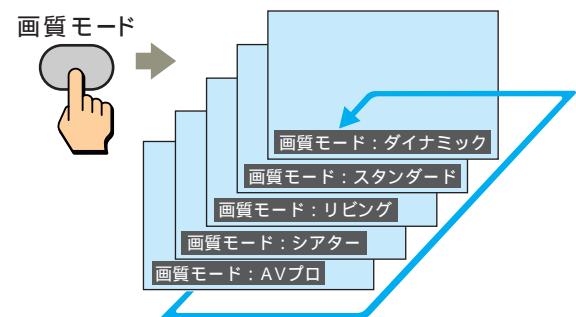
画質モードを選ぶときは、「画質/音質を選ぶときのヒント」(☞6、7ページ)を参考にしてください。

画質モードは、映像信号フォーマット(☞67ページ)ごとに別々に設定できます。



画質モードボタンをくり返し押す。

1回押すと、現在の画質モードが表示されます。その後、押すたびに、次のように切り換わります。



ダイナミック

映像の輪郭とコントラストを最大限に上げたメリハリの非常に強い映像になります。

スタンダード

ご家庭の様々な使用環境に適した、コントラスト感のある映像になります。

リビング

適度なコントラストのある映像になります。特にご家庭のリビングルームに適した設定です。

お好みに合わせて調整できます(☞21、23ページ)。

シアター

部屋を暗くしても見やすいように、コントラストを下げたきめ細かな映像になります。音声は自動的に「サラウンド」の「TS」になります(☞9ページ)。

お好みに合わせて調整できます(☞21、23ページ)。

AVプロ

お好みの画質/音質を自由に設定できます(☞21、23ページ)。

映像の種類に合った音質を選ぶ

[サラウンド]

「**【画質/音質】**」メニューの「サラウンド」では、映像の種類に合った音声を選べます。テレビや本機につないだ映像のどれを見ているときでも楽しめます。

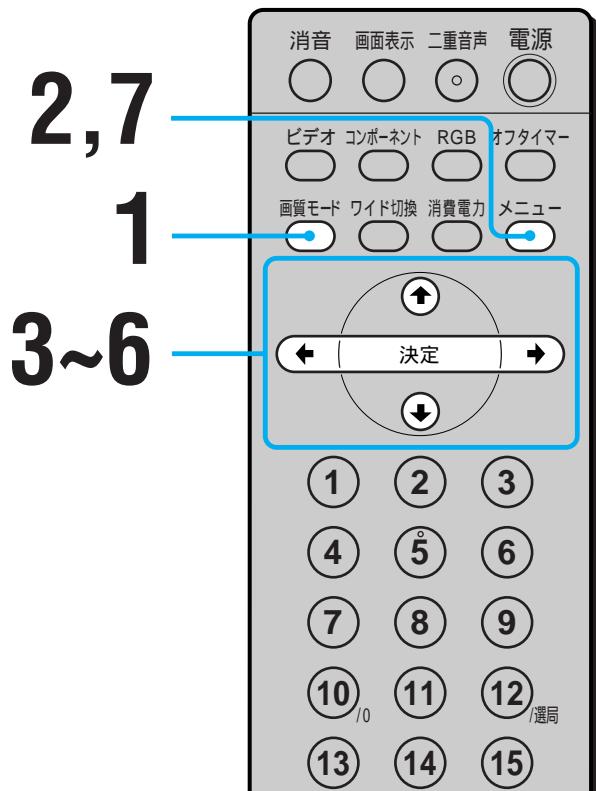
特に「**TS (TruSurround*)**」を選ぶと、映画館にいるような、立体感にあふれた動きのある音声を楽しめます。

トゥルーサラウンド

「サラウンド」は、映像信号フォーマット（**☞67ページ**）ごとに別々に設定できます。

* TruSurroundと(●)記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
TruSurround技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

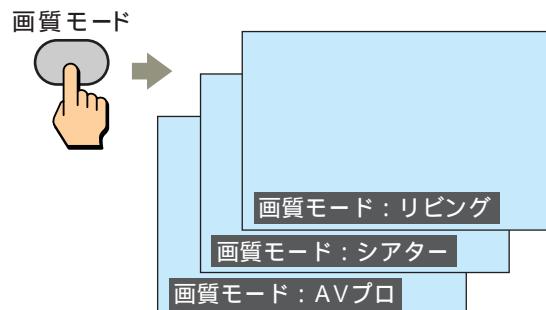
「サラウンド」以外の音質調整も同時にできます。詳しくは、「音質を調整する」(☞23ページ)をご覧ください。



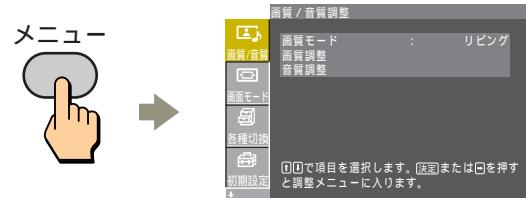
1 画質モードボタンをくり返し押して、「リビング」または「シアター」、「AVプロ」を選ぶ。

ご注意

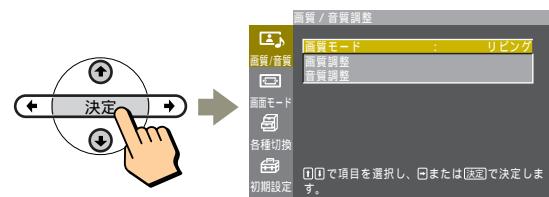
「ダイナミック」と「スタンダード」(8ページ)では、「サラウンド」を設定できません。



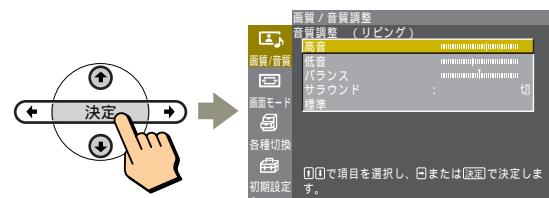
2 メニューボタンを押す。



3 ↑/↓で「 (画質/音質)」を選び、決定ボタンを押す。



4 ↑/↓で「音質調整」を選び、決定ボタンを押す。



次のページにつづく

映像の種類に合った音質を選ぶ [サラウンド](つづき)

5 ↑/↓で「サラウンド」を選び、決定ボタンを押す。



6 ↑/↓で「ホール」または「シミュレート」、「TS」を選び、決定ボタンを押す。

映画や音楽番組などのときに

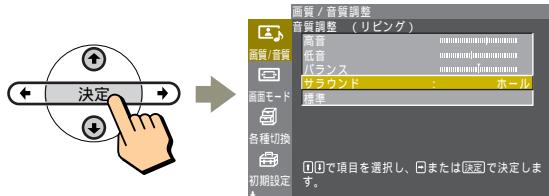
ホール 映画や音楽などのステレオ音声をより臨場感のある音にします。

モノラル音声の放送のときに

シミュレート モノラル音声を擬似的にステレオ音声にして臨場感を高めます。

DVDやビデオソフトのサラウンド音声のときに

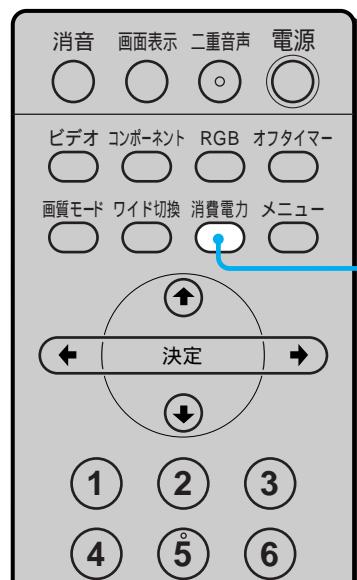
トゥルーサラウンド
TS(TruSurround)
サラウンド処理されたDVDやビデオソフトなどを再生するときに、本機のスピーカーだけで立体的な音場を仮想的に再現します。



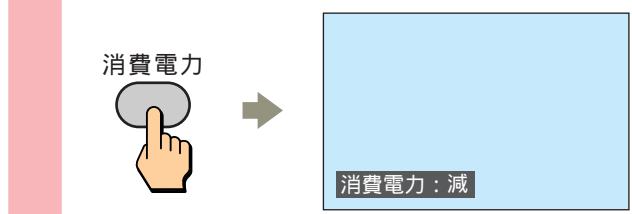
7 メニュー ボタンを押して、メニューを消す。

節電しながら見る [消費電力ボタン]

節電しながら見ることができます。



消費電力ボタンを押す。
節電中になります。



節電をやめるには

もう一度、消費電力ボタンを押す。
「消費電力：標準」と表示されます。

ちょっと一言

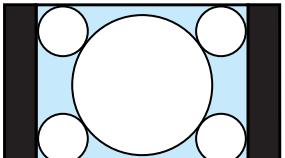
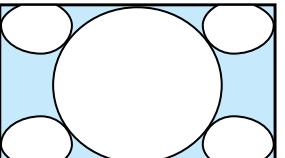
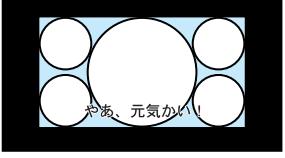
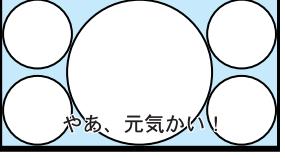
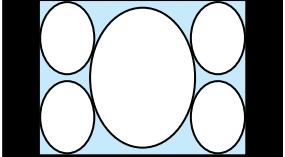
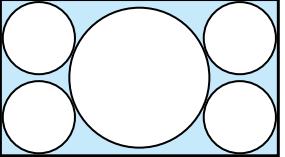
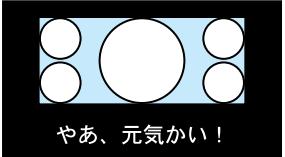
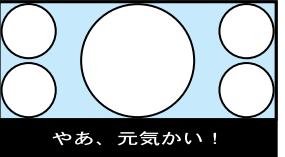
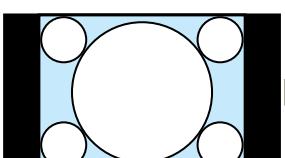
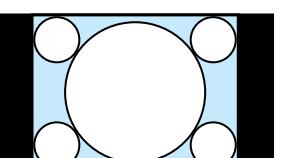
- 「消費電力：減」のときに電源を切ると、次に電源を入れたときも「消費電力：減」のままになります。
- メニュー画面でも操作できます。「(各種切換)」メニューで「消費電力」を選び、「標準」または「減」にしてください。
- 画質モードボタンで「リビング」または「シアター」、「AVプロ」を選んでいるときは、「消費電力：減」でも、画質を調整できます(☞21ページ)。ただし、「コントラスト」や「明るさ」を上げると節電にならなくなる場合があるため、おすすめしません。

ワイド画面を楽しむ

自動でワイド画面にする [オートワイド]

通常のテレビ放送も、ワイドクリアビジョン放送や映画など横長サイズの映像も、下のイラストのように、テレビが最適なワイド切換を選び、横縦比16:9のワイド画面いっぱいに自動的に拡大します。これをオートワイド機能と言います。下の例では、お買い上げ時の設定*を示しています。

* お買い上げ時は、オートワイド「モード2」で、「4:3映像」が「ワイドズーム」に設定されています。

オリジナルの映像(映像の種類)	ワイド切換	オートワイドの映像
• 通常のテレビ放送 (画面横縦比4:3)	 → 	「ワイドズームになる」 違和感なく画面いっぱいに拡大します。
• ワイドクリアビジョン放送 (横縦比16:9) • ビスタビジョンなど映像中に字幕が入った横長の映画 (横縦比1.85:1) • 横縦比情報の入ったビデオカメラやDVDソフトなどの映像 (ID-1方式やS2方式)	 → 	「ズームになる」 画面の左右に合わせていっぱいに拡大します。(映像の種類によって、上下に黒い帯が残ることがあります。)
• 横縦比情報の入ったビデオカメラやDVDソフトなどの映像 (ID-1方式やS2方式)	 → 	「フルになる」 天地はそのまま、左右を画面いっぱいに引き伸ばします。
• シネマビジョンなど映像の外に字幕のある横長の映画 (横縦比2.35:1)	 → 	「字幕入りになる」 画面の左右に合わせていっぱいに拡大しながら、字幕部分だけを圧縮して画面に入れます。
• オートワイド「モード2」で、「4:3映像」を「ノーマル」(お買い上げ時は「ワイドズーム」)に設定したとき (☞18~19ページ)	 → 	「ノーマルになる」 拡大せずに、横縦比4:3のままの映像になります。

ワイド画面を楽しむ(つづき)

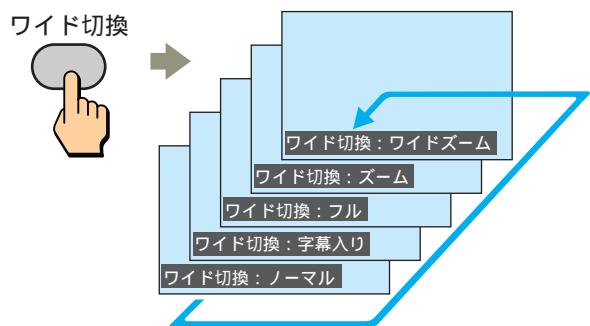
手動でワイド画面に切り換える [ワイド切換ボタン]

オートワイド機能とは別に好きなワイド切換を手動でも選べます。また、電波の受信状態が悪いときや暗い映像のときは、オートワイドが正しく働かないことがあります。このときも、手動でワイド切換を選んでください。



ワイド切換ボタンをくり返し押す。

1回押すと、映像のサイズや種類に応じて、テレビが最適なワイド切換をすばやく選んで表示します*。その後、押すたびに、次のようにワイド切換が変わります。ワイド切換の詳しい説明については、☞11ページをご覧ください。



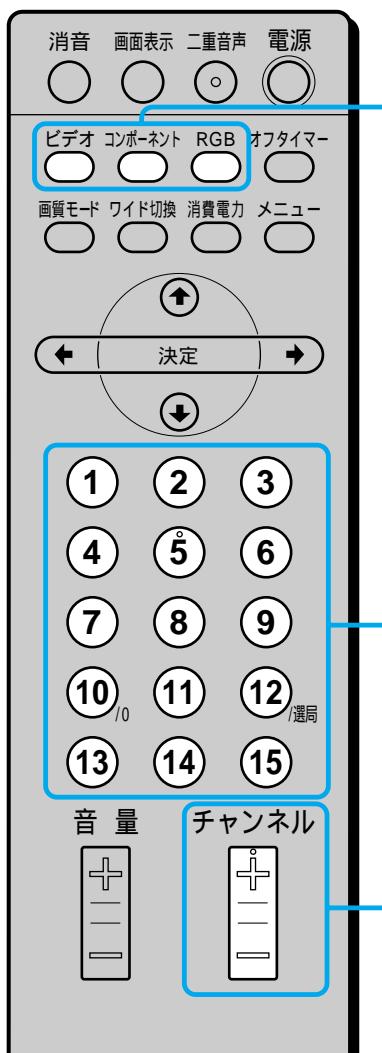
* 「 (画面モード)」メニューの「オートワイド設定」が「モード2」、「4:3映像」を「ノーマル」に設定しているとき(☞18ページ)は、ワイド画面にならないで、画面横縦比4:3の映像のまま(「ノーマル」のまま)になります。

ちょっと一言

手動でワイド画面を楽しむときは、あらかじめ、オートワイドを切っておいてください(☞18ページ)。

テレビにつないだ機器の画像を見る

入力を切り換えて、テレビにつないだビデオ機器やBS・110度CSデジタルチューナー、デジタルCSチューナー、テレビゲームなどの画像を見るすることができます。接続のしかたについては、[☞]46～57ページをご覧ください。



ちょっと一言
テレビ本体のINPUTボタンをくり返し押しても、入力を切り換えられます。

テレビ ビデオ1/Sビデオ1^{*2} ビデオ2/Sビデオ2^{*2}

RGB コンポーネント2 コンポーネント1(D4)

^{*2}S2映像端子につなぎ、「各種切換」メニューの「自動S映像切換」を「入」にしているときは([☞]49ページ)「Sビデオ1」「Sビデオ2」と表示されます。

1 入力切換用のボタンを押して、見たい画像を選ぶ。

各ボタンを押すたびに、それぞれの端子につないだ機器の画像に切り換わります。

押す 以下につないだ機器 画面表示も変
たびに の画像になります。わります。

ビデオ • ビデオ入力1端子 ビデオ1^{*1}

コンポーネント • ビデオ入力2端子 ビデオ2^{*1}

コンポーネント • コンポーネント
入力1端子 コンポーネント1
(D4)

RGB • コンポーネント入力
2/RGB入力端子 コンポーネント2

RGB • コンポーネント入力
2/RGB入力端子 RGB

^{*1}S2映像端子につなぎ、「各種切換」メニューの「自動S映像切換」を「入」にしているときは([☞]49ページ)「Sビデオ1」「Sビデオ2」と表示されます。

2 接続している機器を操作する。

詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

コンポーネント入力2/RGB入力端子につないだ機器からの入力信号に合わせて入力を切り換えてください。設定が違っていると、画面全体が緑色や赤みがかった色になることがあります。

コンポーネント入力2/RGB入力端子にY、P_B/C_B、P_R/C_R信号が入力されているときは

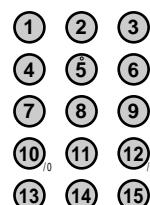
コンポーネントボタンを押して、「コンポーネント2」を表示させる。

コンポーネント入力2/RGB入力端子にRGB信号が入力されているときは

RGBボタンを押して、「RGB」を表示させる。

テレビ画面に戻すときは

チャンネル数字ボタンまたはチャンネル
+/- ボタンを押す。



英語字幕(クローズドキャプション)を見る

クローズドキャプションとは

CC Closed CaptionマークのついたDVDやビデオには、通常の映像に加えて英語字幕などの情報が入っています。その英語字幕などをクローズドキャプションと言います。語学学習などに利用すると便利です。

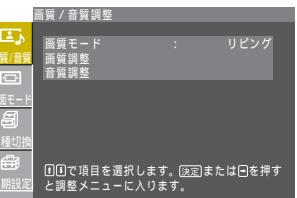
このテレビはクローズドキャプションデコーダーを内蔵していますので、**CC** Closed CaptionマークのついたDVDやビデオなどの英語字幕などを見ることができます。

1,5

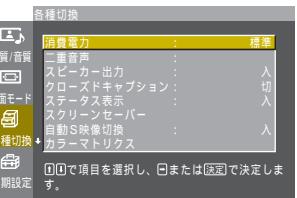
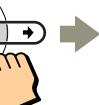
2~4



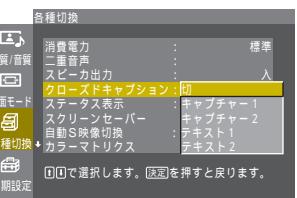
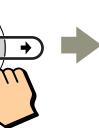
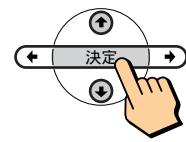
1 メニューボタンを押す。



2 ↑/↓で「各種切換」を選び、決定ボタンを押す。



3 ↑/↓で「クローズドキャプション」を選び、決定ボタンを押す。



4

↑/↓で「キャプチャー1」または「キャプチャー2」、「テキスト1」、「テキスト2」を選び、決定ボタンを押す。

項目	説明
切	字幕を表示しない。
キャプチャー1	画像に重ねて、言語1の字幕を表示する。 例：言語1が英語のとき
キャプチャー2	画像に重ねて、言語2(例：スペイン語など)の字幕を表示する。
テキスト1	字幕の背景を黒くして、言語1の字幕を表示する。 例：言語1が英語のとき
テキスト2	字幕の背景を黒くして、言語2(例：スペイン語など)の字幕を表示する。

クローズドキャプションを消すには

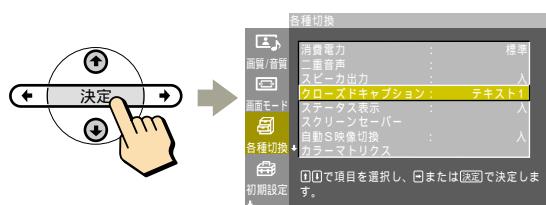
手順4で「切」を選ぶ。

ご注意

クローズドキャプションの言語の種類は、ソフト(DVDやビデオなど)によって異なります。

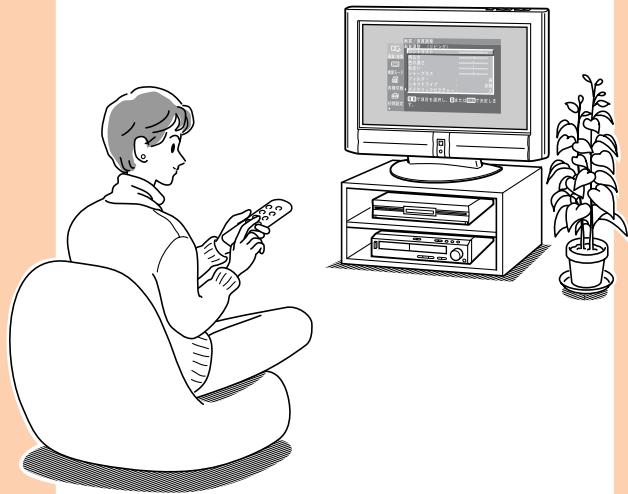
5

メニューボタンを押して、メニューを消す。



調整する/ 設定する

ここでは、画質や音質、および画面の位置やサイズなどを調整する応用的な操作を説明しています。



オートワイドの設定を変える

オートワイドの設定について

オートワイドの設定には、「モード1」と「モード2」があります。

オートワイド「モード1」

テレビ放送では、ワイドクリアビジョン放送や一部の放送局の通常放送(4:3映像)には、映像を判別するための識別制御信号^{*1}が、映像信号に重なって送られています。また、ビデオカメラなど一部のビデオ機器でも同様の識別制御信号が出力されています。

このような識別制御信号を判断して、忠実に再現するのが、オートワイド「モード1」です。ただし、識別制御信号がないときに、手動で選んだワイド切換によっては、画面の周囲が黒くなったり、映像の一部が欠けたりすることがあります。

オートワイド「モード2」

次ページのように、識別制御信号の有無に関係なく、最適なワイド切換になるのが、オートワイド「モード2」です。

お買い上げ時は、オートワイドが「モード2」で、「4:3映像」が「ワイドズーム」に設定されています。

^{*1}識別制御信号とは、オリジナル映像の横縦比をテレビで忠実に再現するためのコントロール信号です。この信号を含んだ映像には、次のものがあります。

- ワイドクリアビジョン放送
- 横縦比情報の入ったビデオカメラなどの記録映像(ID-1 方式やS2方式)
- 横縦比を4:3にする信号が入ったテレビ放送
- D4入力端子からの横縦比情報の入った映像

映像の種類による「モード1」と「モード2」のワイド切換の違い

映像の種類	ワイド切換	
	オートワイド「モード1」	オートワイド「モード2」
通常のテレビ放送	ワイド切換ボタンで選んだワイド切換	「ワイドズーム」または「ノーマル」 ^{*2}
横縦比を4:3（「ノーマル」）にする信号が入ったテレビ放送 ^{*3}	「ノーマル」	「ワイドズーム」または「ノーマル」 ^{*2}
映像中に字幕が入った横長の映画	ワイド切換ボタンで選んだワイド切換	「ズーム」
映像の外に字幕のある横長の映画	ワイド切換ボタンで選んだワイド切換	「字幕入り」
ワイドクリアビジョン放送 ^{*3}		「ズーム」
横縦比を16:9（「ズーム」または「フル」）にする信号が入ったビデオカメラやDVDプレーヤーなどの映像（ID-1方式やS2方式） ^{*3}		「ズーム」または「フル」
横縦比を4:3（「ノーマル」）にする信号が入ったビデオカメラやDVDプレーヤーなどの映像（ID-1方式やS2方式） ^{*3}	「ノーマル」	「ワイドズーム」または「ノーマル」 ^{*2}

^{*2} メニューで設定します（☞18ページ）。お買い上げ時は「ワイドズーム」になっています。

^{*3} 識別制御信号（☞16ページ）の入った映像です。

ちょっと一言

- ワイド切換ボタンで切り換えたあと（☞12ページ）などは、表のようにならないことがあります。
- オートワイドが働いているときにワイド切換ボタンを1回押すと（☞12ページ）上記のオートワイド「モード1」、「モード2」に従って、オートワイドが働き続けます。その後、くり返し押すと、識別制御信号の有無により、次のようになります。
 - 識別制御信号のある映像を受信すると、信号に応じたワイド切換に切り換わります。
 - 識別制御信号のない映像のときは、オートワイドを「モード2」に設定していても、オートワイドが働かなくなります。ただし、チャンネルや入力を変えたり電源を入/切したりすると、再び働きます。
- このテレビは、映画フィルムをより忠実でなめらかな動きの映像に再現します。これは、映画フィルムの信号の規則性を自動的に識別し、最適な信号処理を行なうためです。

オートワイドのときにワイド切換が勝手に切り換わるときは

- 識別制御信号のある映像を受信して、自動的に信号に対応したワイド切換になる（☞11ページ）ためです。
- オートワイド「モード2」のときは、CMが入ったり番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるために数秒間かかったりすることがあります。番組に最適なワイド画面をテレビが判断している（☞11ページ）ためです。

ワイド画面についてのご注意

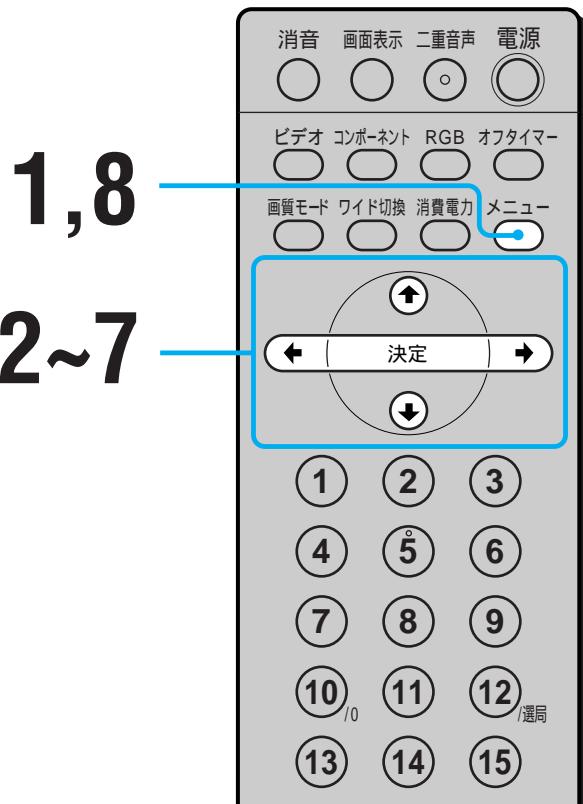
- このテレビは、各種のワイド切換機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、ワイド切換をお選びください。
- このテレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、ワイド切換機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行なうと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来の4:3の映像を、ワイドズームモードを利用してテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えたりします。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になります。
- オリジナル映像のサイズや種類によっては、画面の上下が欠けたり、字幕が入りきらないことがあります。このときは、位置やサイズを調整してください（☞19ページ）。

次のページにつづく

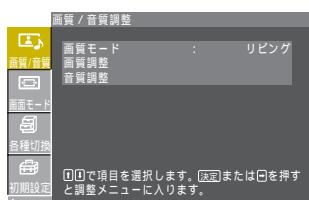
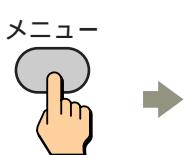
オートワイドの設定を変える (つづき)

オートワイドを設定する/切る

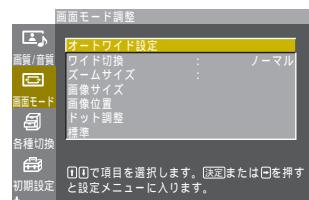
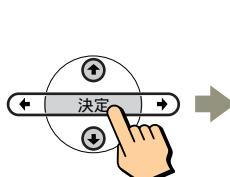
オートワイドについての詳しい説明は、[P11](#)ページをご覧ください。



1 メニュー ボタンを押す。

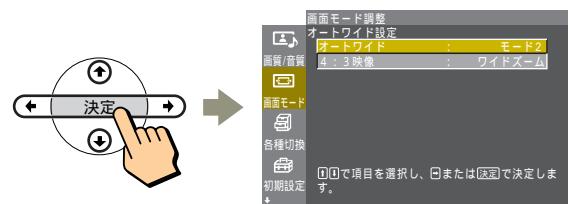


2 ↑/↓で「□(画面モード)」を選び、決定ボタンを押す。



3 「オートワイド設定」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

選ばれていないときは、↑/↓で選び、決定ボタンを押す。



4 ↑/↓で「オートワイド」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。



5 オートワイドを切るときは

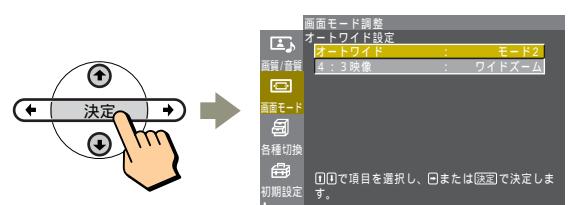
↑/↓で「切」を選び、決定ボタンを押す。
(手順8へ進んでください)。

オートワイドを「モード1」に設定するときは

↑/↓で「モード1」を選び、決定ボタンを押す。(手順8へ進んでください)。

オートワイドを「モード2」に設定するときは

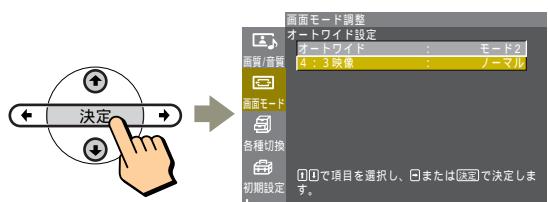
↑/↓で「モード2」を選び、決定ボタンを押す。



6 オートワイド「モード2」のときは、**↑/↓**で「4:3映像」を選び、決定ボタンを押す。



7 **↑/↓**で「ノーマル」または「ワイドズーム」を選び、決定ボタンを押す。



8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

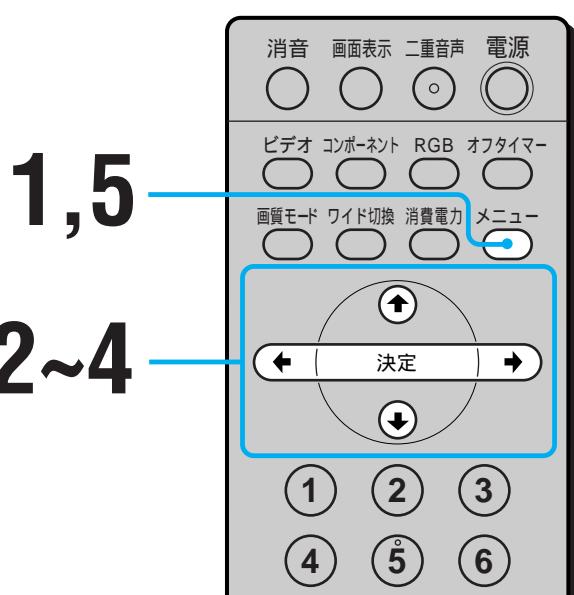
画像のサイズ/位置を調整する

調整する/設定する

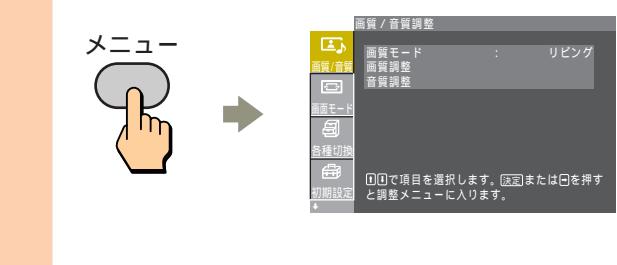
ワイド画像で次のようなときは、画像のサイズや画像位置の上下を、ワイド切換(☞11ページ)ごとに調整できます。

- ・「ワイドズーム」や「ズーム」で画像を見やすい位置にしたいとき
- ・「字幕入り」で字幕が画面に入りきらないとき

「ワイドズーム」のときは「水平サイズ」と「水平位置」は調整できません。



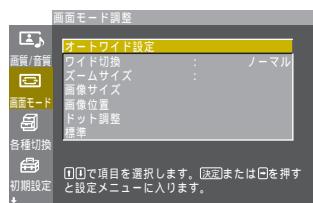
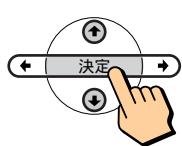
1 調整したい画像を映した状態で、メニューボタンを押す。



次のページにつづく

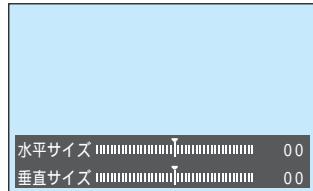
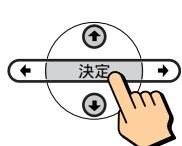
画像のサイズ/位置を調整する (つづき)

2 \uparrow/\downarrow で「画面モード」を選び、決定ボタンを押す。



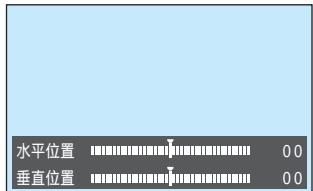
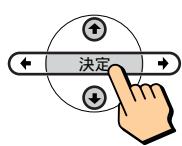
3 \uparrow/\downarrow で調整したい項目を選ぶ。

画像のサイズを調整するときは
 \uparrow/\downarrow で「画像サイズ」を選び、決定ボタンを押す。



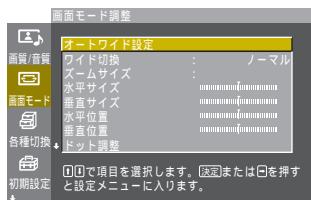
画像の位置を調整するときは

\uparrow/\downarrow で「画像位置」を選び、決定ボタンを押す。



ご注意

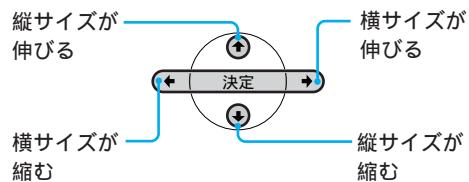
「初期設定」メニューの「メニューキー動作」を「戻る」に設定すると、メニューが次のように変わります。



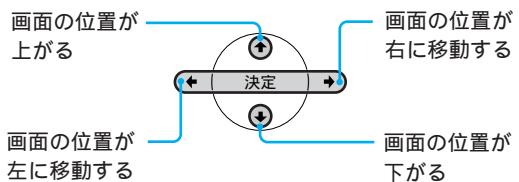
4

$\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ で調整して、決定ボタンを押す。

サイズを調整するときは(フレキシブル・ズーム機能)



位置を調整するときは

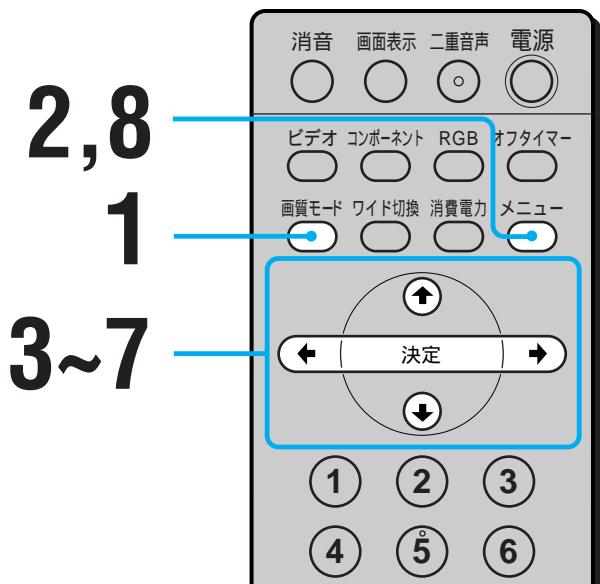


5

メニューボタンを押して、メニューを消す。

より細かく画質を調整する

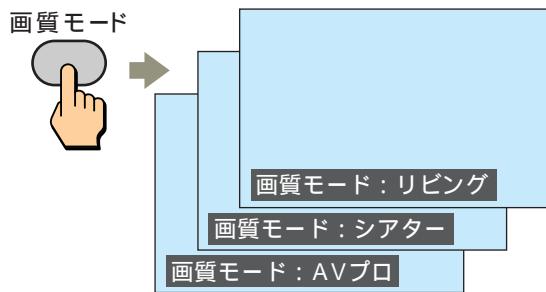
画質モードボタンで「リビング」や「シアター」、「AVプロ」を選ぶと、画質をより細かく調整できます。
画質は、映像信号フォーマット（☞67ページ）ごとに別々に設定できます。



1 画質モードボタンをくり返し押して、「リビング」または「シアター」、「AVプロ」を選ぶ。

ご注意

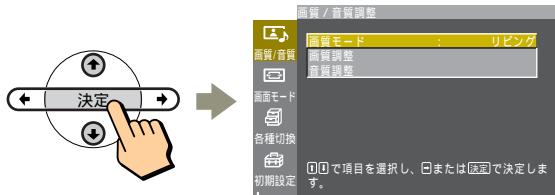
「ダイナミック」と「スタンダード」（☞8ページ）では、画質調整できません。



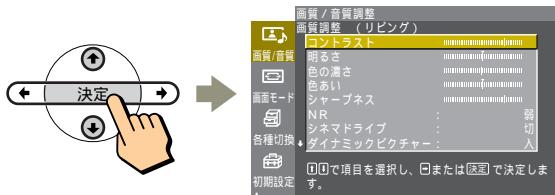
2 メニューボタンを押す。



3 ↑/↓で「画質/音質」を選び、決定ボタンを押す。



4 ↑/↓で「画質調整」を選び、決定ボタンを押す。



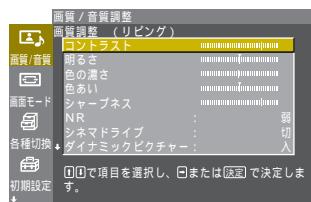
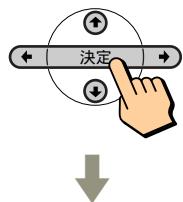
5 ↑/↓で調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。



次のページにつづく

より細かく画質を調整する (つづき)

6 $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ で調整し、決定ボタンを押す。



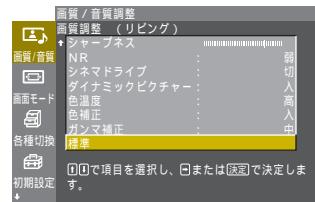
調整できる項目

項目	\downarrow/\leftarrow を押すと	\uparrow/\rightarrow を押すと
コントラスト	明暗の差が小さくなる	明暗の差が大きくなる
明るさ	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	薄くなる	濃くなる
色あい	赤みがかる	緑がかる
シャープネス	映像の輪郭が柔らかくなる	映像の輪郭がくっきりする

ちょっと一言

調整バーの横に表示される数値も調整の目安になります。

▼を押し続けると、以下の項目が調整できます。



調整できる項目

項目	説明	選べる設定
NR	アンテナ (VHF/UHF端子)、ビデオ入力1、2端子、コンポーネント入力1端子またはコンポーネント入力2/RGB入力端子 ¹ につないだ機器の画像のノイズレベルを調整できます。「切」から「弱」、「中」、「強」と設定していくとノイズレベルが減少し、ざらざらした画像からソフトな画像に変わります。特にアンテナ (VHF/UHF端子)からの信号に有効です。	切/弱/中/強
シネマドライブ	「自動」にすると、映画などフィルム(24コマ)で撮影された映像を本機が自動検出し、最適な信号処理を行います。これにより、フィルム映像特有の滑らかな動きのある映像を再現します。	自動/切
ダイナミックピクチャー	白をより白く、黒をより黒くして、コントラストを高める。	入/切
色温度	「高」から「低」にしていくと赤みがかった暖かみのある色調になる。	高/中/低/USER1 ² /USER2 ² /USER3 ²
色補正	美しく、健康的な肌色を再現する。	入/切
ガンマ補正	映像の明暗部分のバランスを調整する。	高/中/低

¹RGB入力 (Y/G、P_B/C_B/B、P_R/C_R/R) にのみつないだときは、調整できません。

²の付いている項目については、[26ページ](#)をご覧ください。

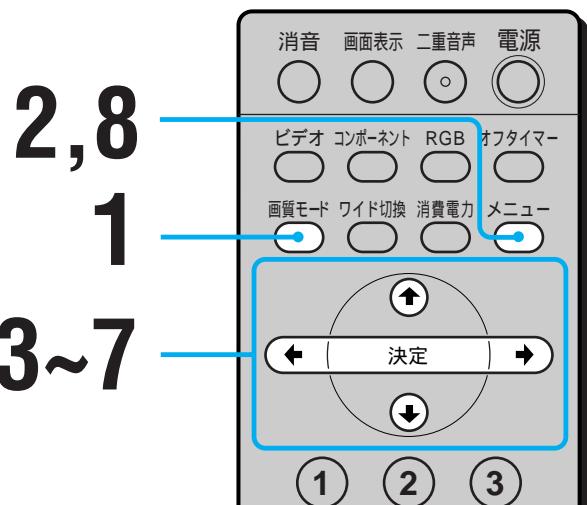
- 7** 他の項目を調整するときは、手順5と6をくり返す。
- 8** メニューボタンを押して、メニューを消す。

お買い上げ時の状態に戻すには
手順5で、「標準」を選び、決定ボタンを押す。

音質を調整する

画質モードボタンで「リビング」や「シアター」、「AVプロ」を選ぶと、音質をより細かく調整できます。

音質は、映像信号フォーマット(☞67ページ)ごとに別々に設定できます。
ここでは「サラウンド」(☞9ページ)以外の音質「高音」、「低音」、「バランス」について説明します。



- 1** 画質モードボタンをくり返し押して、「リビング」または「シアター」、「AVプロ」を選ぶ。

ご注意

「ダイナミック」と「スタンダード」(☞8ページ)では、音質調整できません。



次のページにつづく

音質を調整する(つづき)

2 メニュー ボタンを押す。



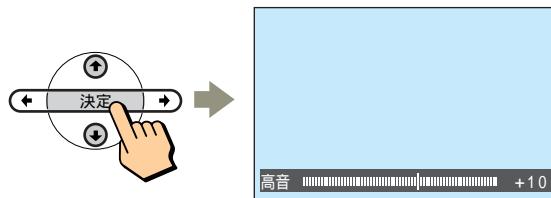
3 ↑/↓で「画質/音質」を選び、決定ボタンを押す。



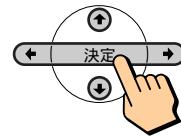
4 ↑/↓で「音質調整」を選び、決定ボタンを押す。



5 ↑/↓で調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。



6 ↑/↓/←/→で調整し、決定ボタンを押す。



項目	↓/←を押すと	↑/→を押すと
高音	弱くなる	強くなる
低音	弱くなる	強くなる
バランス	左側の音が強くなる	右側の音が強くなる
サラウンド	☞9ページをご覧ください。	

ちょっと一言

調整バーの横に表示される数値も調整の目安になります。

7 他の項目を調整するときは、手順5と6をくり返す。

8 メニュー ボタンを押して、メニューを消す。

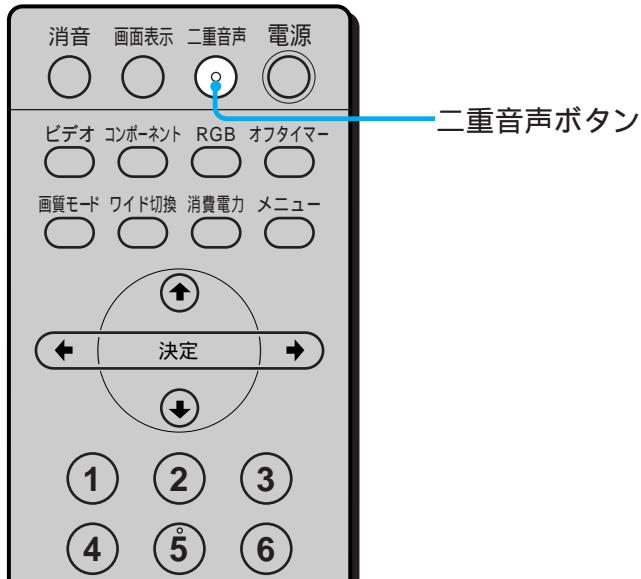
お買い上げ時の状態に戻すには

手順5で、「標準」を選び、決定ボタンを押す。

音声を切り換える

[二重音声ボタン]

二か国語放送など二重音声放送のときに、聞きたい音声を選べます。



二重音声ボタンをくり返し押す。
押すたびに下表のように切り換わります。



画面表示	テレビの左ス ピーカーの音声	テレビの右ス ピーカーの音声
主	両方とも主音声	
副	両方とも副音声	
主/副	主音声	副音声



例：「主/副」を選んだとき

通常のテレビ(VHF/UHF)のステレオ放送で雑音が気になるときは

音声をモノラルにして、チャンネルごとに雑音を軽減できます。

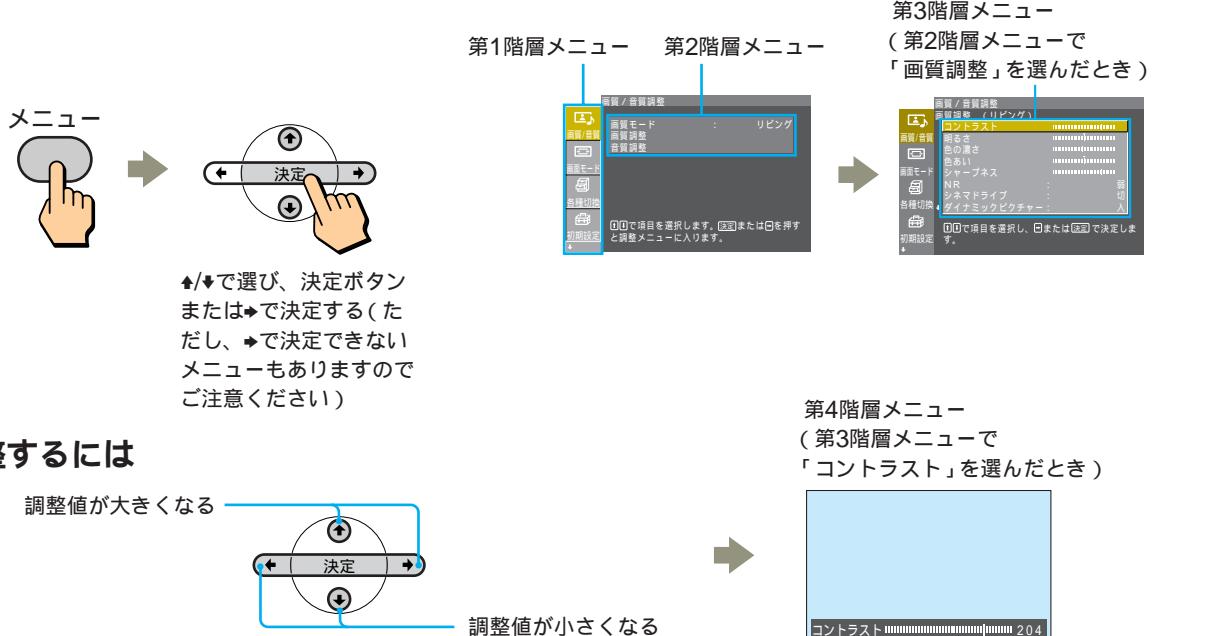
- 1 雑音の多いチャンネルを映した状態で、メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 2 \uparrow/\downarrow で「 初期設定」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 「オートステレオ」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 \uparrow/\downarrow で「切」にして、決定ボタンを押す。
- 5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

より高度な設定をする

メニューを使ってより高度な細かい設定や調整ができます。

- 黄色で表示される部分が選ばれています。
- 薄く表示される部分は選べません。

項目を選ぶには



第1階層 メニュー	第2階層 メニュー	第3~第4階層 メニュー
 画質/音質	画質調整	「色温度」の「USER1」、「USER2」、「USER3」 赤ゲイン、緑ゲイン、青ゲイン(色合い)のそれぞれを「最小」、「- 127」～「+ 126」、「最大」の範囲で調整し、ユーザー設定として3種類登録できます。

名称登録：「USER1」などのかわりに、画面上に表示される文字や記号を使って、好きな名前を付けられます。
↑/↓/➡/➡で文字や記号を選び、決定ボタンを押します。間違えたときは画面上の「➡」を選ぶと1文字戻りますので、選び直してください。

「初期設定」メニューの「メニューキー動作」を「戻る」に設定すると(☞28ページ)、↑/↓だけで文字や記号を選ぶことができます。



第1階層 メニュー	第2階層 メニュー	第3～第4階層 メニュー
	ズームサイズ	画面の中央を中心にして、画像を拡大します。 「標準」(通常の画像サイズ)、「×2」(2倍)、「×3」(3倍)、「×4」(4倍)から選べます。 ワイド切換が「フル」(※11、16ページ)のときのみ画像を拡大できます。
画面モード	ドット調整	RGB機器の画像で、不鮮明なときに調整します。 自動調整：「実行」を選ぶと、入力されている映像信号に最適な調整を自動的に行います。ただし、映像信号の状態や画像パターンなどにより、1回できちんと自動調整できないことがあります。このときは、再度自動調整を行ってください。 ドット位相：文字や画像の一部が不鮮明なときに「最小」、「1」～「62」、「最大」の範囲で調整します。 水平総ドット数：文字や画像が全体的に不鮮明なときに調整します。 標準：お買い上げ時の設定に戻します。
	ステータス表示	「入」を選ぶと、入力を切り換えたときに入力端子や入力信号を表示します。
各種切換	スクリーン セーバー	お買い上げ時は、画面の焼き付きや残像を軽減したり、防いだりするために「入」になっています。長時間同じ画像を表示し続けた場合、完全に焼き付きを防止するものではありません。
	カラー マトリクス	自動表示位置移動：画像の表示位置をゆっくり移動させる「入」か、移動させない「切」を設定します。
		コンポーネント入力につないだBS・110度CSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、DVDプレーヤーなどの出力が、525p(480p)、1125i(1080i)、750p(720p)の各映像信号フォーマット*のとき、映像が自然な色あいになるように設定できます。 通常はお買い上げ時の設定(「480p」は「Y/CB/CR」、「720p」は「Y/PB/PR」、「1080i」では「Y/PB/PR」)のままで、お使いください。色あいが不自然なときは、コンポーネント1、2の各入力ごとに、480p、1080i、720pの各映像信号フォーマットを選んで「Y/CB/CR」または「Y/PB/PR」に設定してください。
		*「映像信号フォーマットについて」(※67ページ)もあわせてご覧ください。
HDモード		コンポーネント入力1端子(D4映像/音声)のD4映像端子やコンポーネント入力2/RGB入力端子(Y/G P _B /C _B /B P _R /C _R /R、音声、HD VD)のY/G P _B /C _B /B P _R /C _R /R端子に入力される信号によって設定します。 1035：ハイビジョンビデオデッキ(ベースバンド)など従来のハイビジョン機器をつないでいるときに選びます。 1080：BS・110度CSデジタルチューナーをつないでいるときに選びます。
RGBモード		コンポーネント入力2/RGB入力端子(Y/G P _B /C _B /B P _R /C _R /R、音声、HD VD)のY/G P _B /C _B /B P _R /C _R /R端子に、RGB信号を出力する機器をつないでいるときに設定します。 DTV：RGB信号のデジタルチューナーなどをつないでいるときに選びます。 OTHERS：その他のRGB機器をつないでいるときに選びます。
同期モード		コンポーネント入力2/RGB入力端子(Y/G P _B /C _B /B P _R /C _R /R、音声、HD VD)のHD端子に入力される信号によって設定します。 同期信号：水平同期信号またはコンポジット同期信号が入力されるときに選びます。 映像信号：映像信号が入力されるときに選びます。

より高度な設定をする(つづき)

第1階層 メニュー	第2階層 メニュー	第3~第4階層 メニュー
	言語	メニューの言語を「日本語」、「English(英語)」、「Deutsch(ドイツ語)」、「Francais(フランス語)」、「Espanol(スペイン語)」、「Italiano(イタリア語)」から選べます。
初期設定	カラー方式	通常は、お買い上げ時の設定(「自動」、「NTSC/PAL/SECAM/NT443」)のままでお使いください。海外の放送方式のビデオをつないで、うまく映らないときなどに設定します。ビデオ入力が選ばれているときにのみ設定できます。
	メニューキー動作	リモコンのメニューボタンを押したときの動作を設定します。 入/切：メニューボタンを押すとメニューが表示され、もう一度押すとメニューが消えます(お買い上げ時の設定)。 戻る：メニューボタンを押すとメニューが表示され、メニューが表示されているときに押すと、1つ前の画面に戻ります。また、メニュー操作の一部が変わります。
	パワーセービング	放送やテレビにつないだ機器からの入力信号がなくなると、自動的に電源スタンバイ状態になるように設定できます。 切：パワーセービングが働かないようにします。 5分：放送終了後または入力信号がなくなってから5分経過すると、自動的に電源スタンバイ状態になります。 10分：放送終了後または入力信号がなくなってから10分経過すると、自動的に電源スタンバイ状態になります。
	機種名 シリアル番号 内部温度	機種名：このテレビの機種名「KE-32TS2」。 シリアル番号：1台ごとに付いている製品番号。 内部温度：通常は「OK」と表示されます。
ステータス	「NG」が赤く点滅しているときは「自己診断表示」(☞60ページ)をご覧になり、必要な対処を行ってください。 ファン：通常は「OK」と表示されます。 「NG」が赤く点滅しているときは「自己診断表示」(☞60ページ)をご覧になり、必要な対処を行ってください。	

タイマー

ここでは、テレビに内蔵されている時計を使って、時刻を表示したり、自動的に電源を入/切する操作を説明しています。

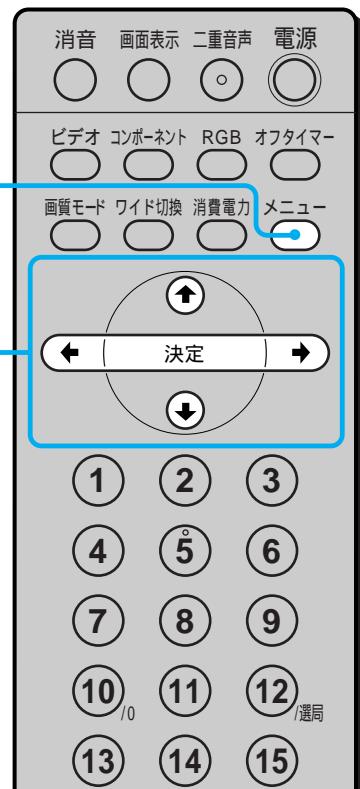
時計の精度は、月差 + - 30秒です。



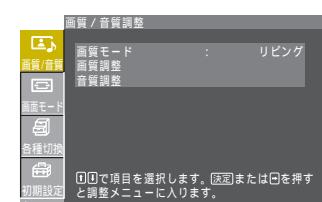
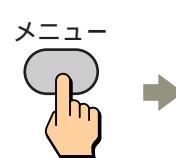
時刻を設定する/表示する

1,8

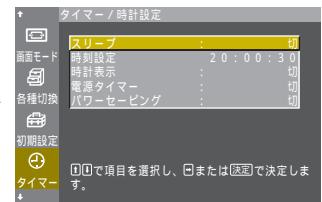
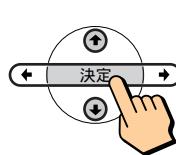
2~7



1 メニュー ボタンを押す。



2 ↑/↓で「⌚ タイマー」を選び、決定 ボタンを押す。



次のページにつづく

時刻を設定する/表示する(つづき)

3 ↑/↓で「時刻設定」を選び、決定ボタンを押す。

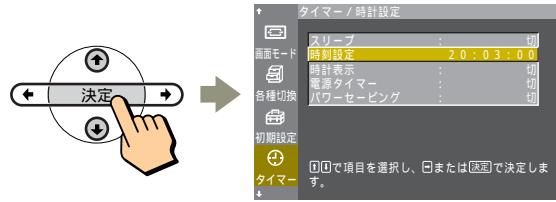


4 時刻を設定する。

- 1 ↑/↓で時を設定し、決定ボタンを押す。
- 2 ↑/↓で分を設定し、決定ボタンを押す。



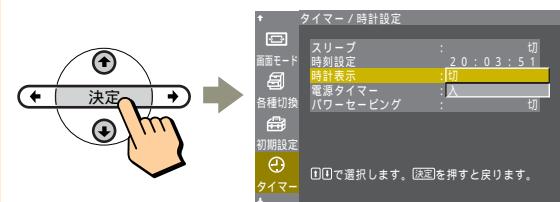
- 3 時報などと同時に決定ボタンを押す。
秒が「00」と表示され、時計が動き始めます。



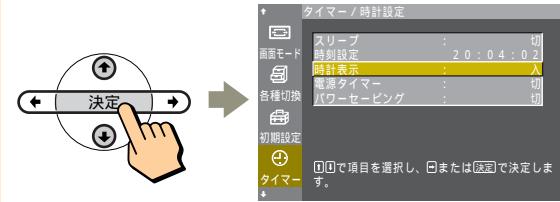
ちょっと一言

↑/↓を押し続けると時刻が早く変わります。

5 ↑/↓で「時計表示」を選び、決定ボタンを押す。



6 ↑/↓で「入」を選び、決定ボタンを押す。



時刻を表示しないときは「切」を選びます。

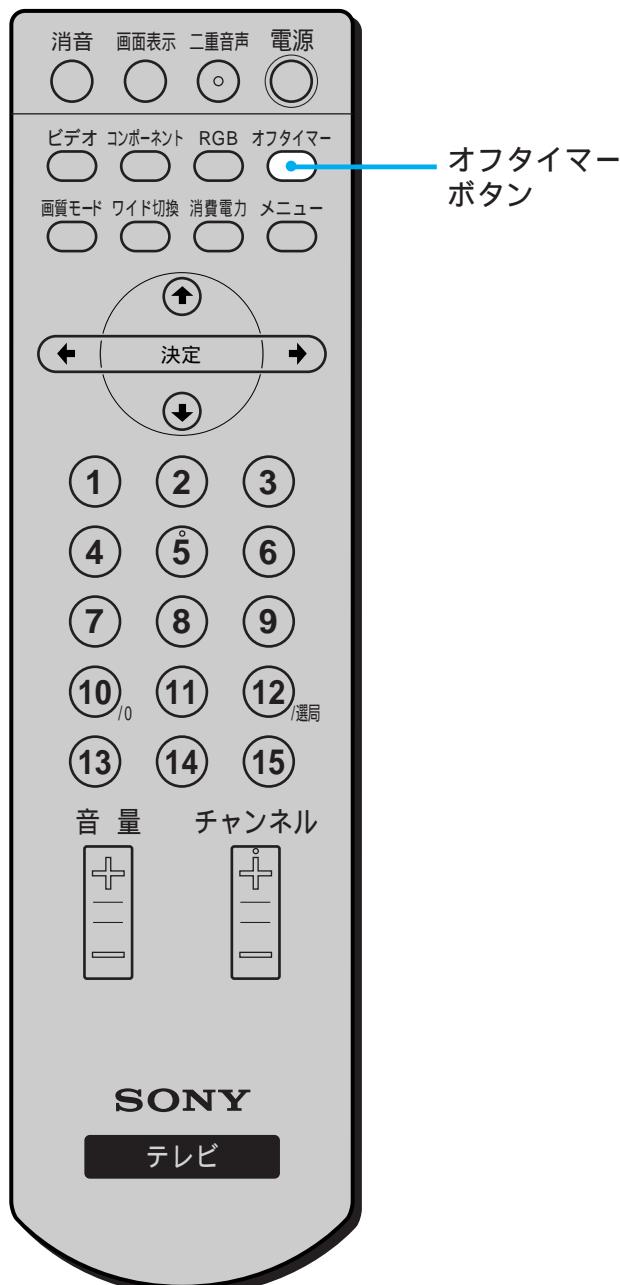
7 メニュー ボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言

時計表示は約5分間表示されたあと、自動的に消えます。

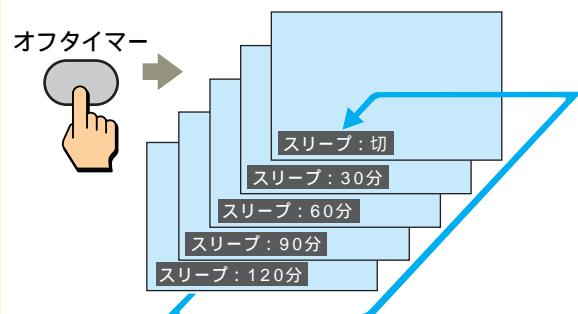
自動で電源を切る [オフタイマー ボタン]

テレビをつけたまま寝てしまっても、設定した時間(30分、60分、90分または120分)が過ぎると、自動的に電源が切れます。



オフタイマー ボタンをくり返し押す。

押すたびに、次のように時間が変わります。また、テレビ本体のSTANDBY/SLEEPランプが赤く点灯します。



オフタイマーを途中でやめるには

オフタイマー ボタンをくり返し押して、「スリープ: 切」を選ぶ。

ちょっと一言

- オフタイマーが働いているときに、オフタイマー ボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間(例:「スリープ:あと17分」)が表示されて、数秒後に消えます。
- 電源を入れ直したときは、「スリープ: 切」に戻ります。
- メニュー画面でも操作できます。「 タイマー」メニューで「スリープ」を選び、時間を設定してください。

自動で電源を入/切する

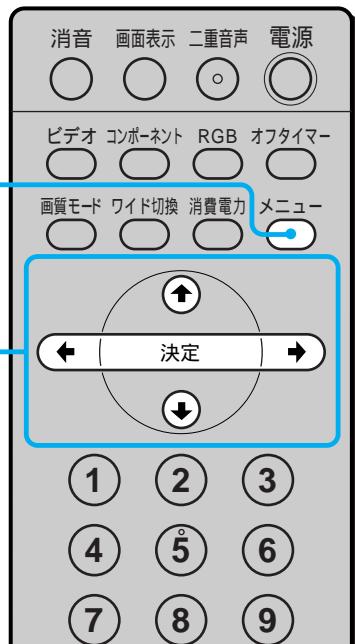
時刻を決めてテレビの電源を自動で入/切できます。毎日同じ時刻にテレビの電源を入/切したいときに便利です。
あらかじめ時刻を設定しておく必要があります（[29ページ](#)）。

ご注意

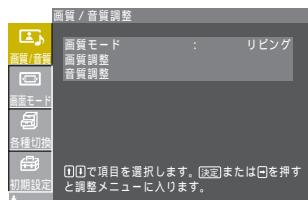
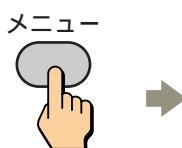
自動で電源を入れるときは、本体のPOWERスイッチで電源を切らないでください。設定した時刻になんでもテレビの電源が入りません。

1,10

2~9

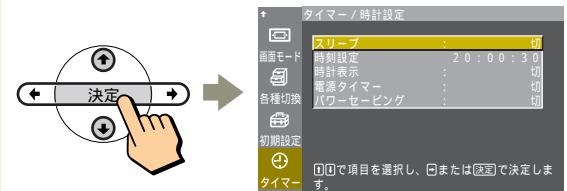


1 メニュー ボタンを押す。



2

↑/↓で「 タイマー」を選び、決定ボタンを押す。



3

↑/↓で「電源タイマー」を選び、決定ボタンを押す。



4

↑/↓で「入」を選び、決定ボタンを押す。



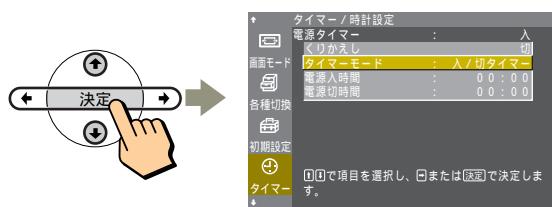
5

↑/↓で「タイマー モード」を選び、決定ボタンを押す。



6 \uparrow/\downarrow で「切タイマー」、「入タイマー」または「入/切タイマー」を選び、決定ボタンを押す。

項目	説明
切タイマー	テレビの電源を切る時刻を設定するときに選びます。
入タイマー	テレビの電源を入れる時刻を設定するときに選びます。
入/切タイマー	テレビの電源を入れる時刻と、切る時刻を両方設定するときに選びます。



7 テレビの電源を切る時刻を設定するときは
 \uparrow/\downarrow で「電源切時間」を選び、決定ボタンを押す。

テレビの電源を入れる時刻を設定するときは
 \uparrow/\downarrow で「電源入時間」を選び、決定ボタンを押す。

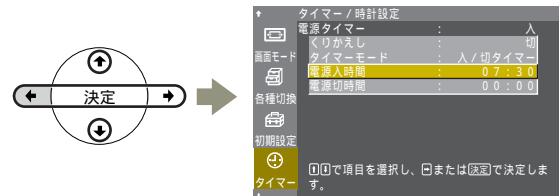


8 時刻を設定する。

- \uparrow/\downarrow で時を設定し、決定ボタンを押す。
- \uparrow/\downarrow で分を設定し、決定ボタンを押す。
- \leftarrow を押す。

ちょっと一言

\uparrow/\downarrow を押し続けると時刻が早く変わります。



9 手順6で「入/切タイマー」を選んだときは、手順7と8をくり返して、「電源切時間」と「電源入時間」を両方とも設定する。

10 メニューボタンを押して、メニューを消す。

毎日同じ時刻に自動的に電源を入/切するには
手順4のあと、下記の操作を行ってください。

- \uparrow/\downarrow で「くりかえし」を選び、決定ボタンを押す。
- \uparrow/\downarrow で「入」を選び、決定ボタンを押す。
やめるときは「切」を選んでください。
- 手順5以降を行う。

電源タイマーが働かないようにするには
手順4で「切」を選ぶ。

ちょっと一言

放送が終了したり映像信号が入力されなくなってから一定の時間が過ぎると、自動的にテレビの電源を切るように設定できます(パワーセービング)([28ページ](#))。

テレビの接続と準備

ここでは、テレビアンテナのつなぎかた、およびチャンネル設定を説明しています。

手順1~3(☞37~42ページ)まで済ませれば、テレビを見るることができます。他の機器をつないでお使いになるときは、「他機との接続」(☞46~58ページ)をご覧ください。



テレビの転倒を防ぐために

専用のテレビラック(別売り)を使うときは

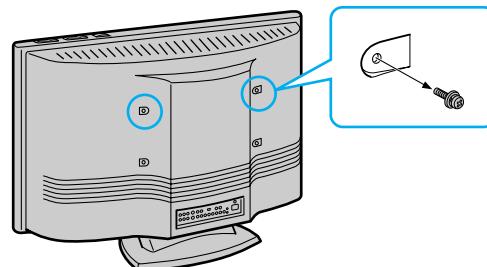
下記の本機専用のテレビラックの取扱説明書をご覧ください。

- SU-32TS2

市販のひもやクサリなどで固定するときは

テレビ後面に付属の転倒防止金具を取り付け、そこに丈夫なひもやクサリなどを通して壁や柱などに固定します。転倒防止金具を取り付けるネジは、後面キャビネットの固定用としても使っているため、金具の取り付けは、お買い上げ店などに依頼することをおすすめします。

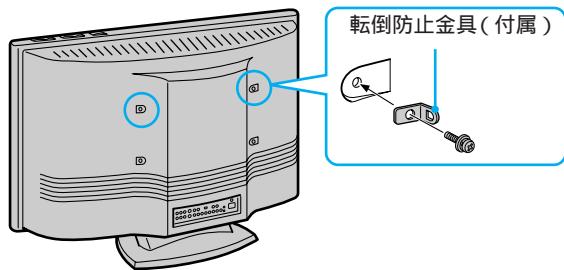
- ① テレビ後面のネジの片方を取りはずす。



ご注意

このネジで後面キャビネットを固定しているため、2つのネジを同時に取りはずさないでください。また、ネジを取りはずした状態で本機を使わないでください。

② 転倒防止金具をネジで固定する。

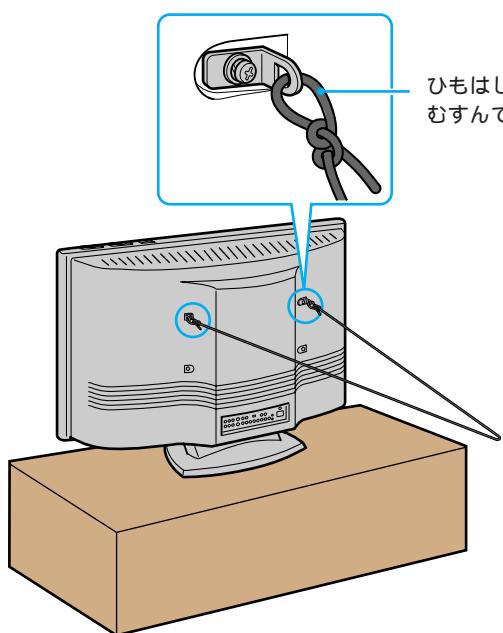


ご注意

必ず、テレビ後面にあらかじめ取り付けてあるネジで固定してください。
市販のネジや長いネジを使うと、本機が破損したり、感電の原因となることがあります。

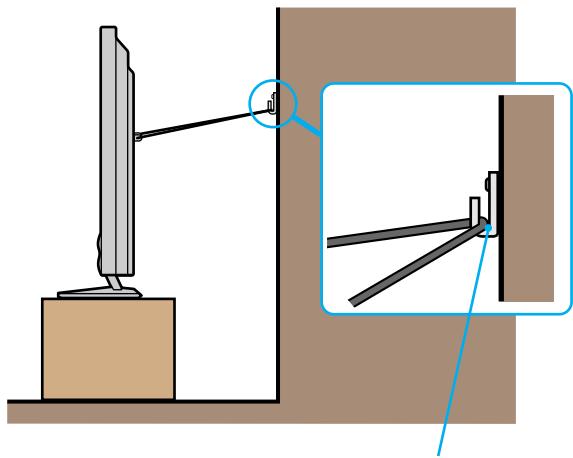
③ 手順①と②をくり返して、もう片方の転倒防止金具を取り付ける。

④ 丈夫なひもやクサリなどを、転倒防止金具の穴に通して、しっかり付ける。

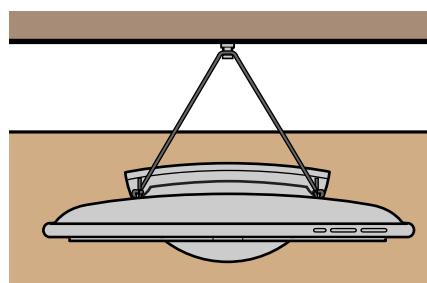


⑤ 壁や柱などの安定した場所に、④で取り付けたひもやクサリなどを、しっかり固定する。

横から見たところ



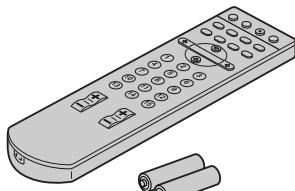
上から見たところ



付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

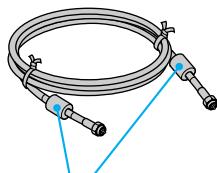
リモコン(1個)と単4型乾電池(2個)



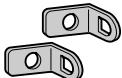
電源コード(1本)



アンテナ接続ケーブル(1本)



転倒防止金具(2個)



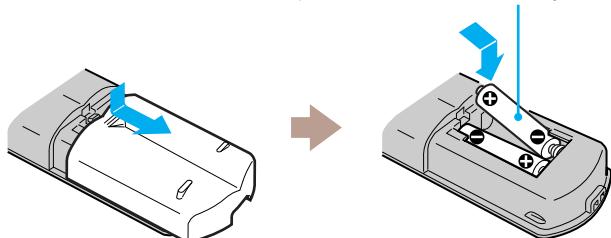
フェライトコアを取りはずさないでください。

クリーニングクロス
(1枚)

取扱説明書
安全のために/安全点検のおすすめ
ソニーご相談窓口のご案内
保証書
(各1部)

リモコンに電池を入れるには

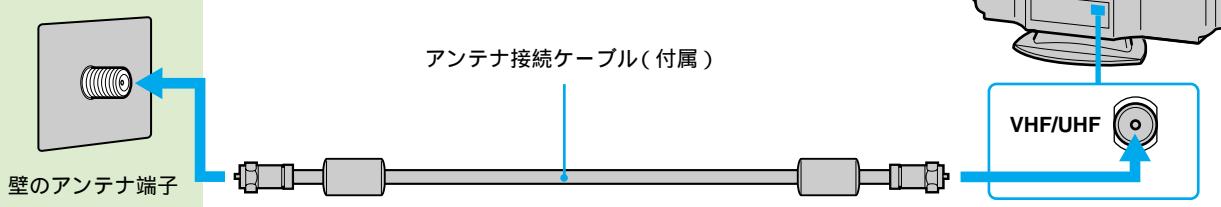
必ずイラストのように●極側から電池を入れてください。無理に入れたりすると、ショートの原因になり、発熱することがあります。



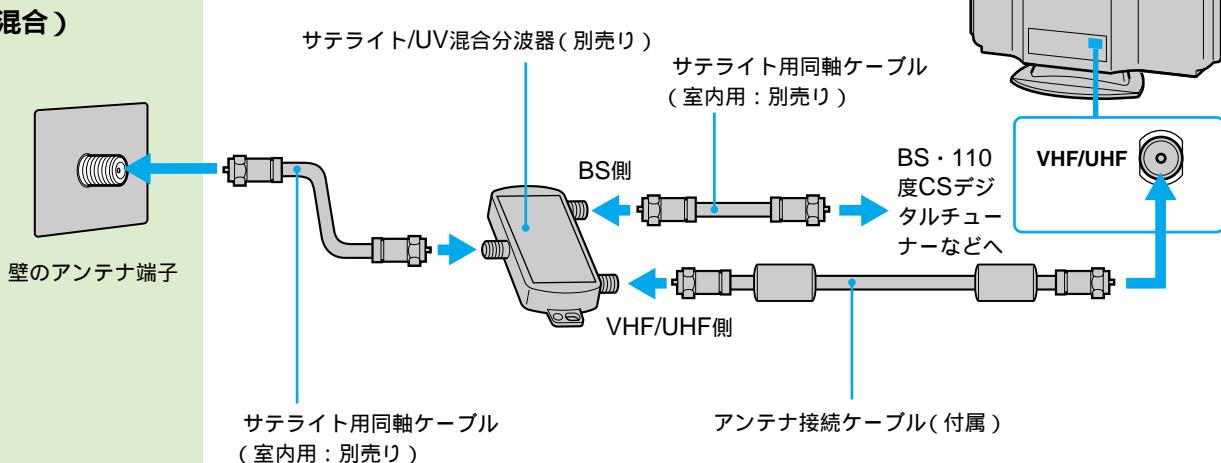
手順1： テレビアンテナ をつなぐ

テレビアンテナのつなぎかたは、壁のアンテナ端子の形や、使うケーブルによって異なります。下の例から最も近いもの選び、つないでください。
いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。

**VHF/UHF混合、
またはVHF、
またはUHF**



**マンションなどの共同受信システム
(VHF/UHF/BS混合)**



デジタルCS放送*を含めた共同受信システムのときは

お住まいのマンションの共同受信システムによって、壁のアンテナ端子への接続のしかたが異なります。マンション管理会社(または管理人や管理組合など)に、共同受信システム方式を確認し、その指示に従って、接続および受信方法の設定を行ってください。

* スカイパーフェクTV!のことです。110度CSデジタル放送ではありません。

次のページにつづく

手順1： テレビアンテナをつなぐ(つづき)

きれいな画像をお楽しみいただくために

このテレビには、多くのデジタル回路による新テクノロジーが搭載されています。このため、安定した画像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態がとても重要です。下記のようにアンテナの接続と設置を確実に行い、妨害電波を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

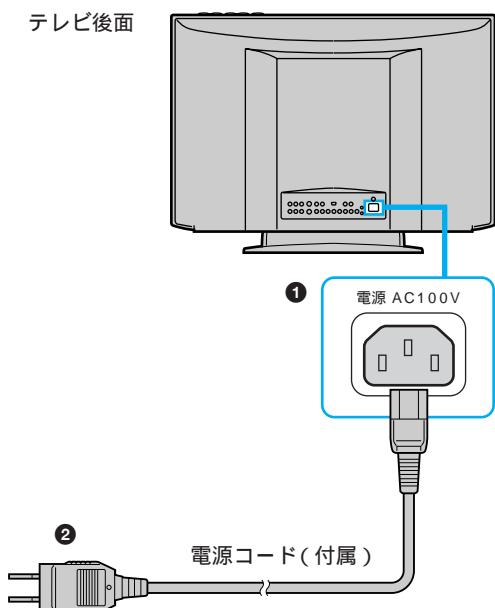
- ・テレビ背面のVHF/UHF端子への接続は、必ず付属のアンテナ接続ケーブルを使ってください。
- ・アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
- ・室内アンテナ、フィーダー線は特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。

ご注意

フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。万が一、フィーダー線をご使用になる場合は、テレビからできるだけ離してください。

手順2： 電源コードをつなぐ

ビデオなどすべての接続が終わったあと、必ず付属の電源コードをテレビにつなぎ、最後にコンセントにつなぎます。



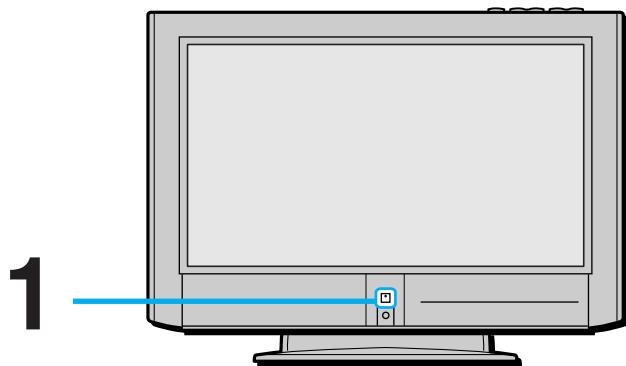
手順3： チャンネルを設定 する

VHF/UHF放送は、自動でも手動でも受信設定できます。はじめに自動設定することをおすすめします。

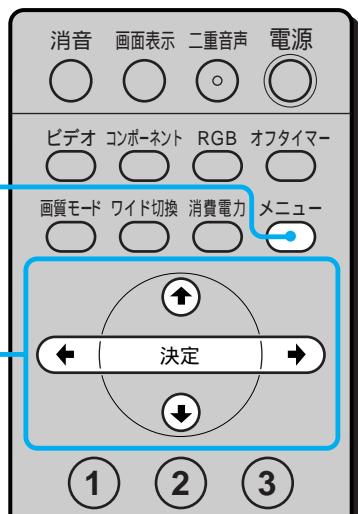
自動設定する

受信できるVHF/UHF放送を、リモコンの数字ボタンに自動的に設定します。放送のある時間帯に行ってください。

自動設定したチャンネルを変更したり、放送のないチャンネルをとばすときは、☞41~42ページをご覧ください。



1



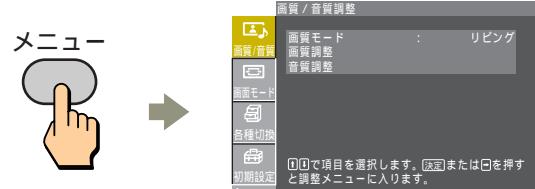
2,7

3~6

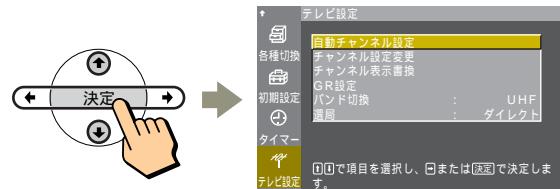
1 テレビ本体のPOWERスイッチを押す。



2 メニューボタンを押す。

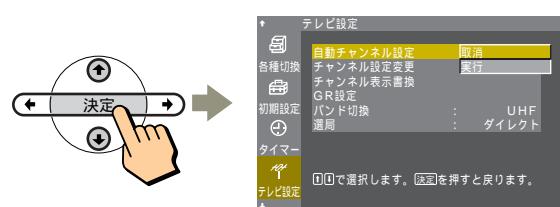


3 ↑/↓で「(テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。



4 「自動チャンネル設定」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

選ばれていないときは、↑/↓で選び、決定ボタンを押す。

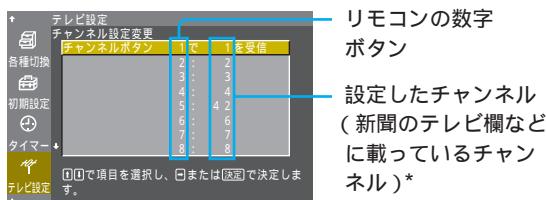


手順3： チャンネルを設定する(つづき)

5 ↑/↓で「実行」を選び、決定ボタンを押す。



「自動チャンネル設定実行中です」と表示され、自動的に設定が始まります。設定が終わると、下のメニューに変わります。



* 地域によっては、これまでご覧になっていたチャンネル番号と異なる場合があります。

6 設定されたチャンネルを確認する。

手動で設定し直したいときは
☞41ページをご覧ください。
ゴーストの少ない画像にしたいときは
☞44ページをご覧ください。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

チャンネル設定を途中でやめるには

手順5で「自動チャンネル設定実行中です」のメッセージが出ている間に、リモコンのメニューボタンを押す。

ケーブルテレビを見るには

ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要です。なお、ケーブルテレビを受信できない地域もあります。このテレビでは、C13～C35までのケーブルテレビチャンネルを受信できます。詳しくは、お近くのケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

- 1 ダイレクト選局になっていることを確認する(☞42ページ)。
- 2 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 3 ↑/↓で「“(テレビ設定)”」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 ↑/↓で「バンド切換」を選び、決定ボタンを押す。
- 5 ↑/↓で「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
- 6 ↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
- 7 ↑/↓でケーブルテレビを映したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。
- 9 ↑/↓でケーブルテレビのチャンネルを選び、決定ボタンを押す。
ケーブルテレビのチャンネルには、表示の前に「C」がつきます。
例：C24
- 10 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

- ケーブルテレビとUHF放送を同時に受信したり、チャンネル設定したりすることはできません。
- ケーブルテレビでは、36チャンネル以降は「受信しない」設定になります。そのため、UHF放送の36チャンネル以降を設定しても、「“(テレビ設定)”」メニューで「バンド切換」を「CATV」に変えると、36チャンネル以降は「受信しない」設定に変わります(「ダイレクト選局」(☞42ページ)のときのみ)。このときは、「手動設定する」(☞41ページ)で再設定してください。
- ケーブルテレビで「10キー選局」(☞42ページ)をすることは、自動設定で受信設定をしたあと、「10キー選局」に切り換えてください。

手動設定する

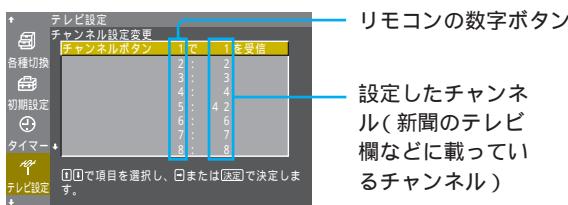
自動設定したチャンネルを変えたり、表示を書き換えたり、放送のないチャンネルをとばすことができます。

1~15のチャンネル数字ボタンを、手動で設定できます。

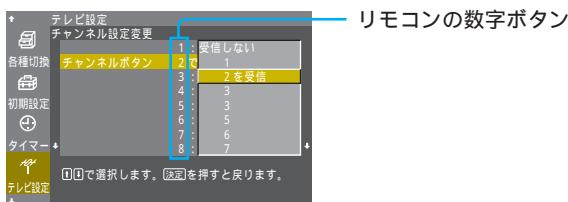
リモコンの数字ボタンに設定したチャンネルを変えるには

リモコンの数字ボタンに好きなチャンネルが映るように変えられます。

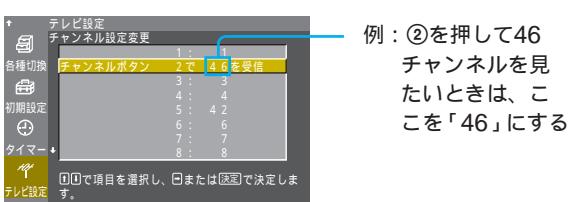
- 1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 2 \uparrow/\downarrow で「 (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 \uparrow/\downarrow で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。



- 4 \uparrow/\downarrow で変更したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。



- 5 \uparrow/\downarrow で設定したチャンネルを変更し、決定ボタンを押す。



- 6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

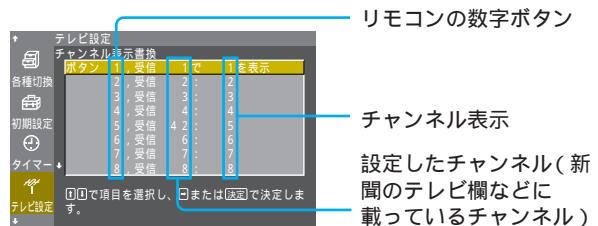
ちょっと一言

- 手動設定でケーブルテレビの受信の設定をするときは、「 (テレビ設定)」メニューで、「バンド切換」を「CATV」にしてください。詳しくは、(☞40ページ)をご覧ください。
- リモコンの数字ボタンの13~15に、UHFチャンネルを設定すると、チャンネルの順がわかりやすくなり便利です。

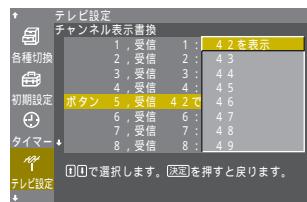
チャンネル表示を書き換えるには

画面に出るチャンネル表示は、新聞のテレビ欄などに載っているチャンネルになっています。これを、好きなチャンネル番号などに書き換えることができます。

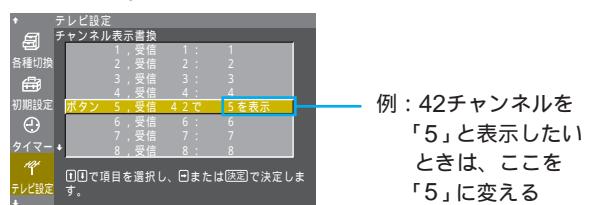
- 1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 2 \uparrow/\downarrow で「 (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 \uparrow/\downarrow で「チャンネル表示書換」を選び、決定ボタンを押す。



- 4 \uparrow/\downarrow で書き換えるチャンネルを選び、決定ボタンを押す。



- 5 \uparrow/\downarrow でチャンネル表示を書き換え、決定ボタンを押す。



- 6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言

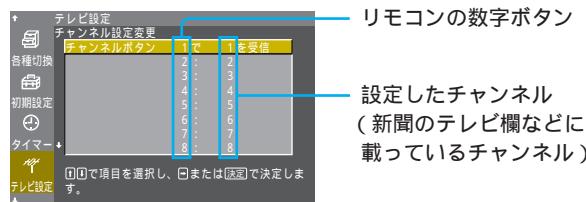
チャンネルと表示が1対1で対応するように、チャンネル表示を書き換えてください。複数のチャンネルを同一のチャンネル表示にすることもできますが、おすすめしません。

手順3： チャンネルを設定する(つづき)

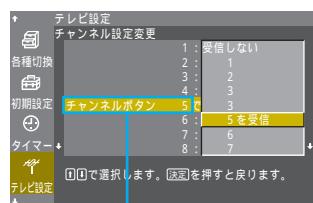
放送のないチャンネルをとばすには

チャンネル+/-ボタンでチャンネルを選ぶときに、放送のないチャンネルをとばす(選局しない)ように設定できます。

- 1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 2 **↑/↓**で「 (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 **↑/↓**で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

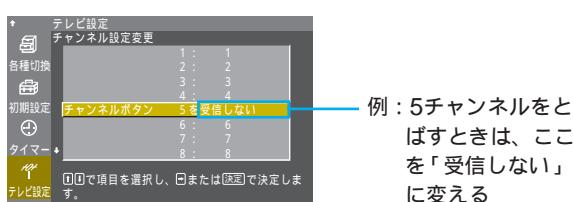


- 4 **↑/↓**でとばしたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。



例：5チャンネルをとばすときは、ここを選ぶ

- 5 **↑/↓**で「受信しない」を選び、決定ボタンを押す。



- 6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ[10キー選局]

お買い上げ時は「ダイレクト選局」になっています。

「ダイレクト選局」は、リモコンの数字ボタンと同じチャンネルが映る選局方法で、受信できるチャンネル数は最大15局です。

そのため、ケーブルテレビなど見たいチャンネルの数が15局を越えるときは、「10キー選局」に変えてください。

「10キー選局」では、数字ボタンを十の位・一の位の順に押したあと、**⑫**を押して、チャンネルを選びます。0は**⑩**を使います。

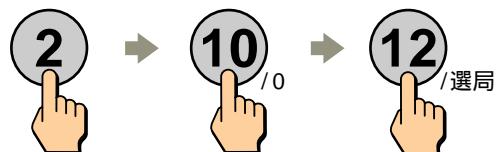
ちょっと一言

⑫を押さなくても、約3秒後に切り換わりますが、押すとすぐに切り換わります。

例) 14チャンネル



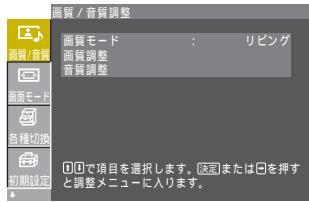
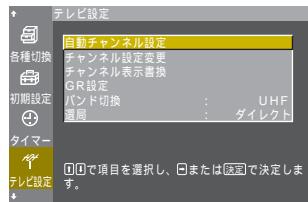
20チャンネル



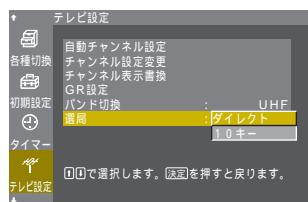
1,5

2~4

1 メニュー ボタンを押す。

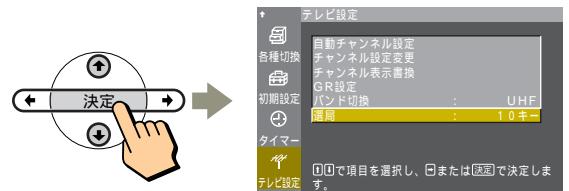
2 ↑/↓で「 (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「選局」を選び、決定ボタンを押す。



4

↑/↓で「10キー」を選び、決定ボタンを押す。



5

メニュー ボタンを押して、メニューを消す。

ダイレクト選局に戻すには

手順4で「ダイレクト」を選ぶ。

ご注意

- チャンネルを自動設定する(☞39ページ)ときは、ダイレクト選局に戻してから行ってください。
- ケーブルテレビのときは、手順2のあと、下記の操作を行ってください。
 - ↑/↓で「バンド切換」を選び、決定ボタンを押す。
 - ↑/↓で「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
 - 手順3以降を行う。

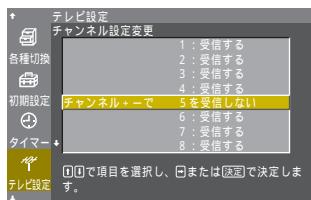
次のページにつづく

数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ[10キー選局](つづき)

チャンネル+/-ボタンで選ぶ放送を設定するには

お買い上げ時は1~12チャンネルが順に選ばれるように設定されています。ケーブルテレビなどでこれ以外のチャンネルを選ぶときや、放送がないチャンネルをとばすときは、次のように設定します。

- 1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 2 **↑/↓**で「 (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 **↑/↓**で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 **↑/↓**で見たいチャンネル、またはとばしたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。
- 5 **↑/↓**で見たいチャンネルのときは「受信する」を、とばしたいチャンネルのときは「受信しない」を選び、決定ボタンを押す。



- 6 複数のチャンネルを設定するときは、手順4と5をくり返す。
- 7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

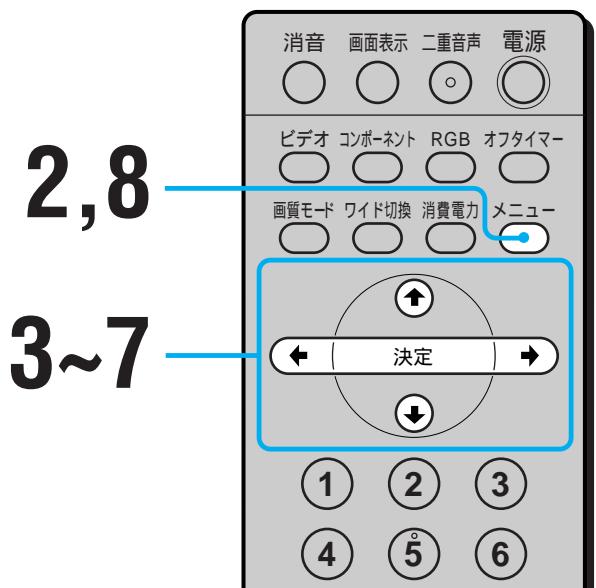
ゴーストの少ない 画像にする [ゴースト・リダクション]

このテレビでは、建物や地形などによる妨害波で起こるゴーストを、放送局から送信されるゴースト除去基準信号を感知して、少なくする(リダクション)ように、チャンネルごとに設定できます。

「GR」はゴースト・リダクションの略です。

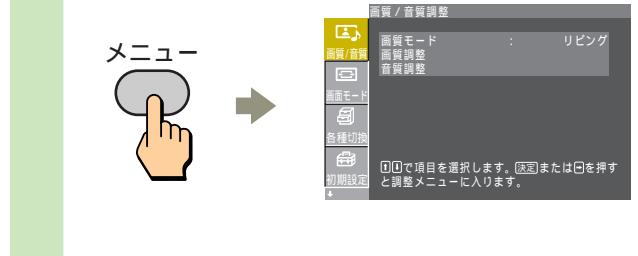
ご注意

ビデオ機器の再生画像などテレビにつないだ機器の映像に対しては設定できません。

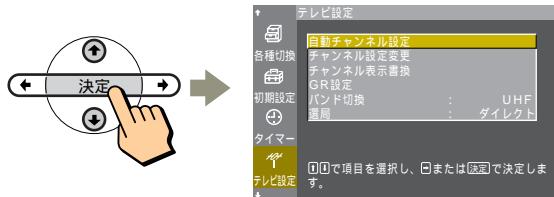


- 1 通常のテレビ(VHF/UHF)放送を映す。

- 2 メニューボタンを押す。

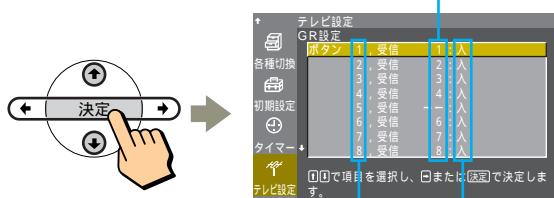


3 ↑/↓で「 (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。



4 ↑/↓で「GR設定」を選び、決定ボタンを押す。

設定したチャンネル(新聞のテレビ欄などに載っているチャンネル)
10キー選局のときは表示されません。



リモコンの数字ボタン
10キー選局のときは、設
定したチャンネル(新聞の
テレビ欄などに載って
いるチャンネル)です。

5 ↑/↓で設定を変えたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。

例：2チャンネルのGR
設定を変えたいときは、ここを選ぶ



6 ↑/↓で「入」または「切」を選び、決定ボタンを押す。



7 複数のチャンネルを設定するとき
は、手順5と6をくり返す。

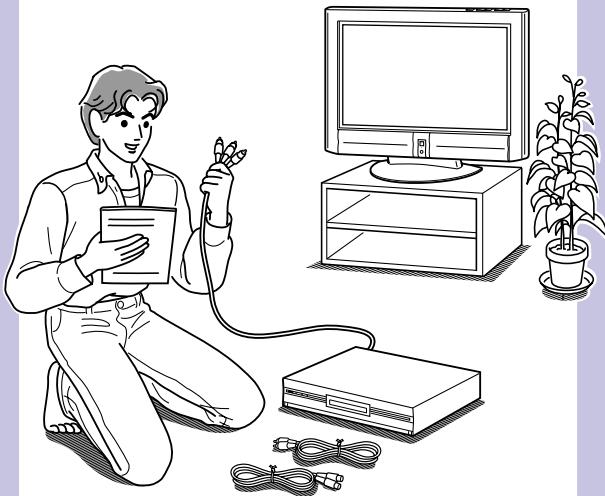
8 メニューボタンを押して、メ
ニューを消す。

ご注意

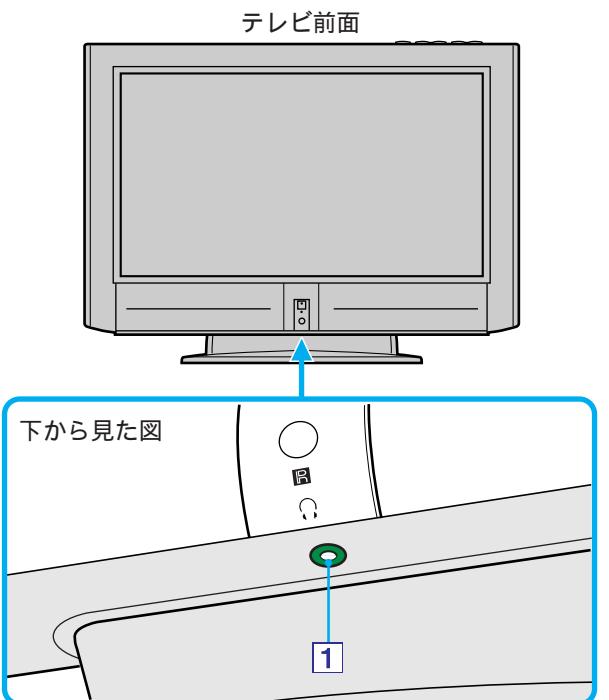
- ゴースト・リダクションは、チャンネルを切り換えたあと、数秒してから働き、大きなゴーストから順々に少なくしていきます。このとき、画像が一瞬またたくことがあります。
- 受信している電波が弱いときは、大きなゴーストに働くと別のゴーストが起きることがありますが、徐々に少なくしていきます。
- アンテナの設置や調整のときは「GR設定」を「切」にすると、ゴーストの少ない方向を確認できます。
- 次のときは効果が充分に出ないため、「GR設定」を「切」にしてください。
 - ゴーストが大きすぎるととき
 - ゴーストが同時に10波以上起きているとき
 - 飛行機に反射して起きるゴーストなど、一定でないゴーストのとき
 - 室内アンテナなどアンテナの設置や調整が適切に行われていないとき

他機との接続

ここでは、接続端子の名前とはたらき、およびビデオデッキなど他の機器のつなぎかたについて説明しています。テレビを見るための接続と準備については、「テレビの接続と準備」(☞34~45ページ)をご覧ください。



接続端子の名前と はたらき



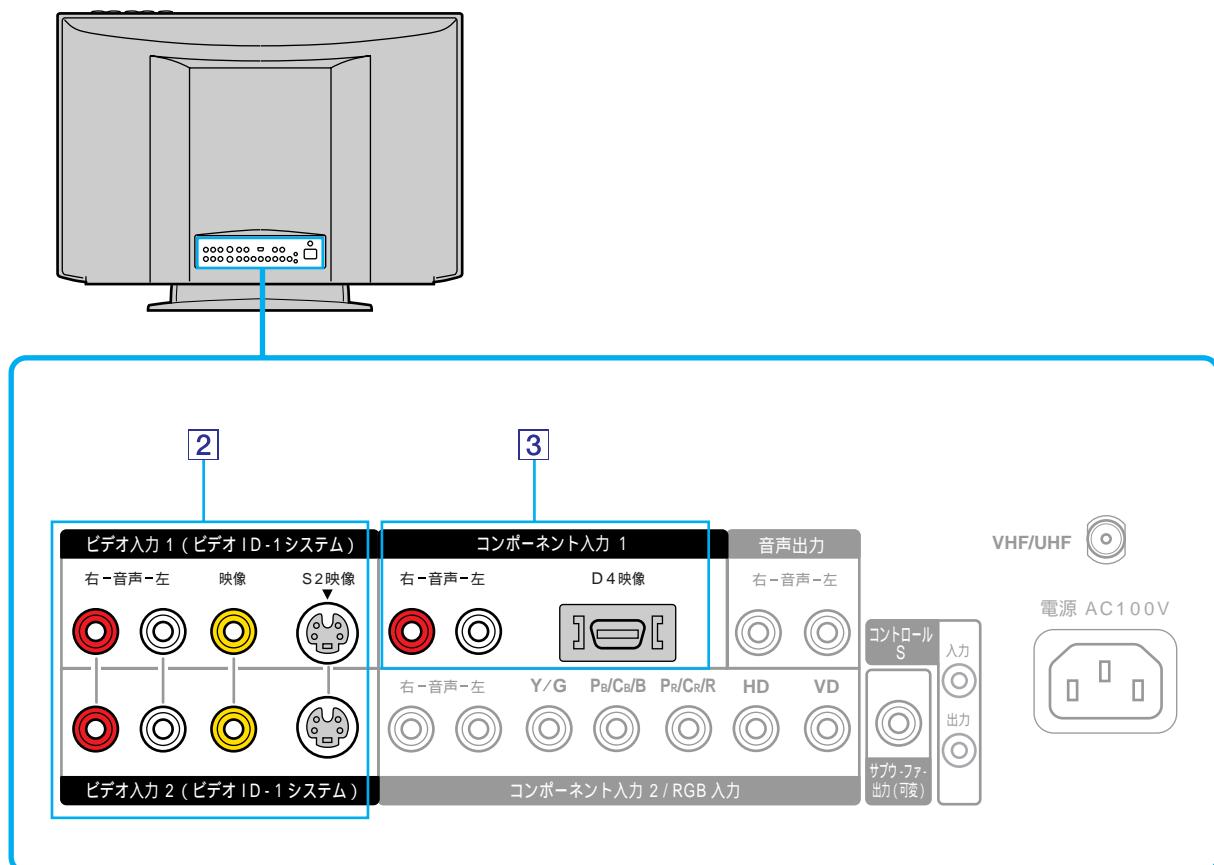
☞のページに詳しい説明があります。

1 ヘッドホン端子

ヘッドホンをつなぎます。

ヘッドホンジャックが長くて接続できない場合は、別売りのプラグアダプター(PC-L42Sなど)をお使いください。

テレビ背面



☞のページに詳しい説明があります。

②ビデオ入力1、2端子(S2映像/映像/音声)(ビデオID-1システム)(☞50~54、56ページ)

ビデオデッキやレーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどのビデオ機器、およびデジタルCSチューナーなどのビデオ出力端子につなぎます。

③コンポーネント入力1端子(D4映像/音声)(☞51~52、55ページ)

D4映像入力端子*

BS・110度CSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、ビデオ機器などのD映像出力端子につなぎます。

*1 D端子について詳しくは、「映像信号フォーマットについて」(☞67ページ)をご覧ください。

音声入力端子

BS・110度CSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、ビデオ機器などの音声出力端子につなぎます。

コンポーネント入力1端子(D4映像/音声)にBS・110度CSデジタルチューナーをつなぐときは(☞51ページ)

「HDモード」を「HDモード：1080」に設定して、つないでください。デジタルハイビジョン放送(HD放送)の有効走査線数が1080本のためです。

D端子について

BS・110度CSデジタル放送*2には次のような信号フォーマットがあります。

*2 BS・110度CSデジタル放送の受信には、別途、BS・110度CSデジタルチューナーが必要となります。

信号フォーマット	走査線数	有効走査線数
525i(480i)	525本	480本
525p(480p)	525本	480本
1125i(1080i)	1125本	1080本
750p(720p)	750本	720本

iはインターレース：飛び越し走査、pはプログレッシブ：順次走査の略です。(☞67ページ)
()内は走査線数で数えたときの別称です。

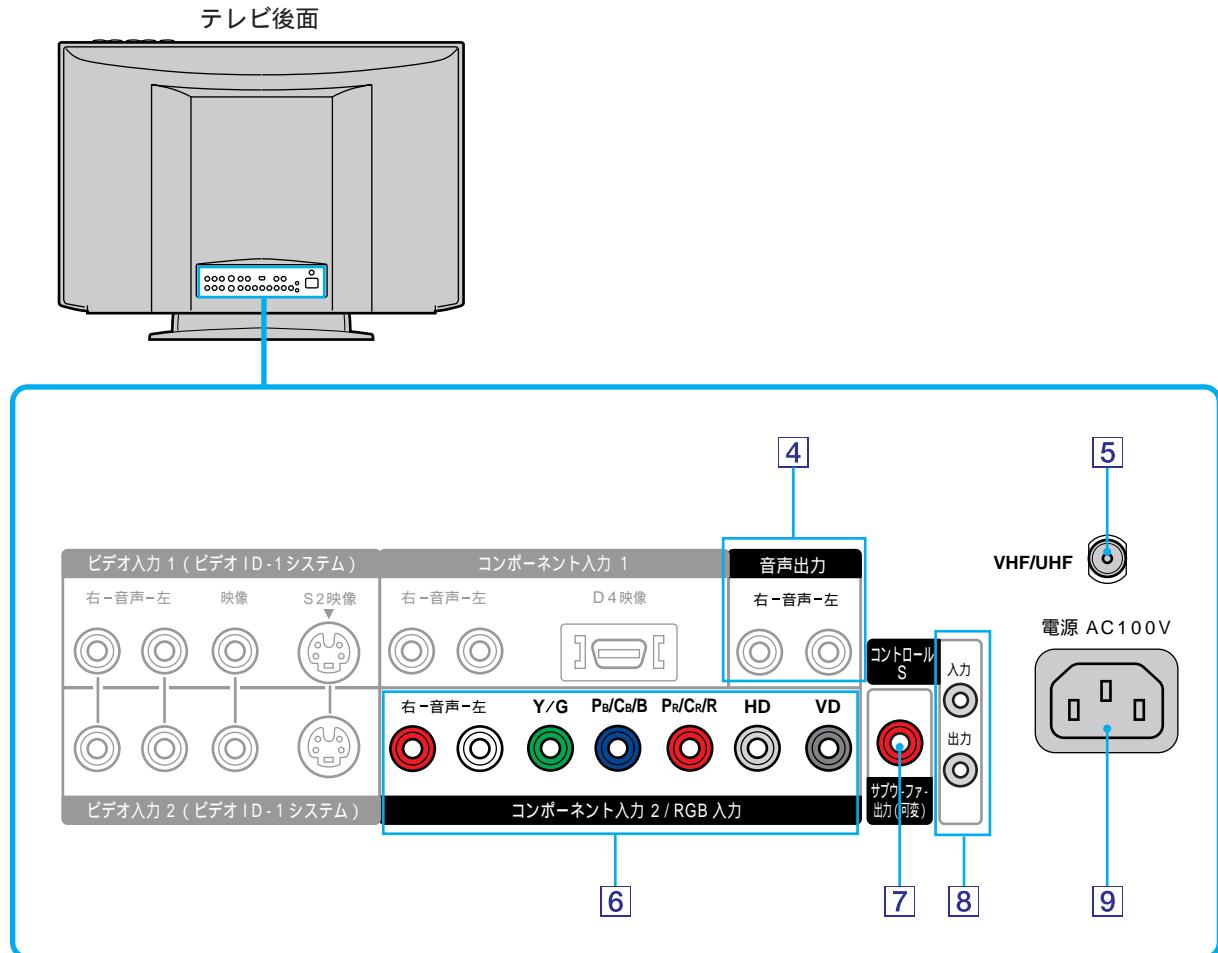
BS・110度CSデジタル放送の信号フォーマットに対応するD端子の種類は次のようになっています。

D端子の種類とその対応信号フォーマット

D端子の種類	525i	525p	1125i	750p
D1端子		×	×	×
D2端子			×	×
D3端子				×
D4端子				

本機にはD4映像入力端子がついています。BS・110度CSデジタルチューナーの出力設定については、BS・110度CSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。

接続端子の名前とはたらき (つづき)



☞のページに詳しい説明があります。

④ 音声出力端子 (☞57ページ)

オーディオ機器の音声入力端子につなぎます。

⑤ VHF/UHFアンテナ端子 (☞37ページ)

VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルやケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

⑥ コンポーネント入力2/RGB入力端子 (Y/G Pb/Cb/B Pr/Cr/R、音声、HD VD) (☞55~56ページ)

Y/G Pb/Cb/B Pr/Cr/R 映像入力端子

DVDプレーヤーのコンポーネントビデオ出力端子 (Y/Cb/Crまたは、Y/B-Y/R-Y、Y/Pb/Pr) またはハイビジョン機器やRGB機器の映像出力端子につなぎます。

音声入力端子

DVDプレーヤーやハイビジョン機器などの音声出力端子につなぎます。

HD/VD入力端子

RGB機器などの同期出力端子につなぎます。

コンポーネント入力2/RGB入力端子にハイビジョン・ビデオデッキ(ベースバンド)をつなぐときは(☞56ページ)

「HDモード」を「HDモード：1035」に設定して、つないでください。従来のハイビジョン(ベースバンド)の有効走査線数が1035本のためです。

⑦ サブウーファー出力(可変)端子 (☞58ページ)

サブウーファーの入力端子とつなぎます。

⑧ コントロールS端子 (☞51ページ)

入力端子

他機のコントロールS出力端子につないで、他機からテレビを操作できます。

出力端子

他機のコントロールS入力端子につないで、テレビにリモコンを向けて他機を操作できます*。

* テレビの電源が入っているとき、またはSTANDBY/SLEEPランプが赤く点灯しているときに限ります。テレビの電源が入っていない(STANDBY/SLEEPランプが点灯していない)ときは、このような操作はできません。

⑨ 電源 AC 100V 端子 (☞38ページ)

付属の電源コードをつなぎます。

ビデオをつなぐ

ビデオデッキ、ビデオカメラ、またはレーザーディスクプレーヤーなどをつなぎます。それぞれの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

S2映像端子と映像端子のどちらにつなぐか迷ったときは

よりよい画質でご覧いただくために、S2映像端子につないでください*。

つなぐ機器にS映像端子がない場合は、映像端子につなぎます。

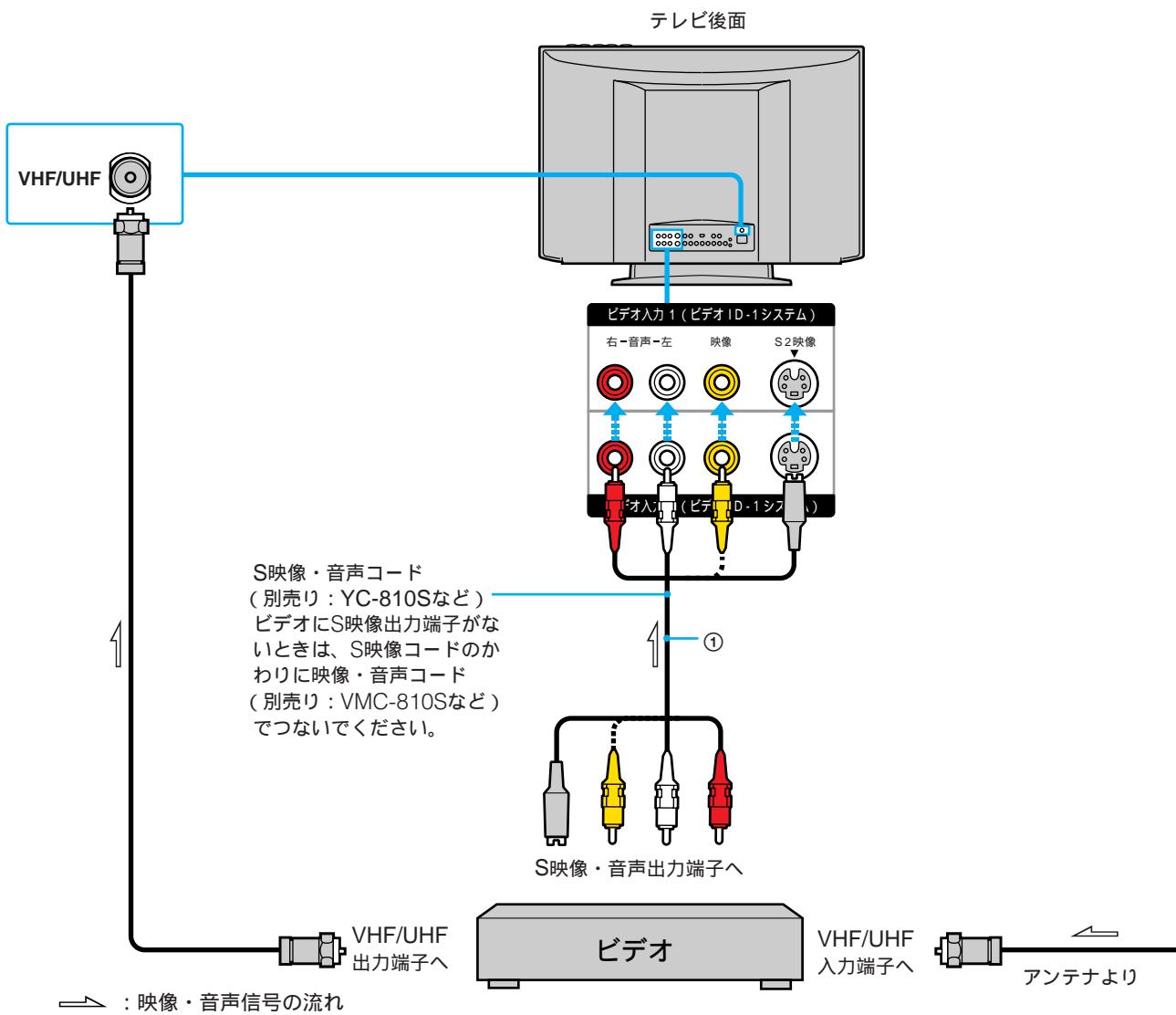
* レーザーディスクプレーヤーのときは映像端子につないでください。三次元Y/C分離回路搭載のレーザーディスクプレーヤーのときは、接続による画質の差はほとんど生じません。再生モードにはノーマルを選び、デジタルで再生しないでください。詳しくは、レーザーディスクプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

テレビのビデオ1、2入力のS2映像入力端子と映像入力端子の両方につないだときはビデオの映像信号をどちらの端子から入力するかを、ビデオ入力ごとにメニュー画面で設定できます。お買い上げ時は、S2映像入力端子から入力された画像が映ります。

- 1 ビデオボタンをくり返し押して、切り換えるたいビデオ入力を選ぶ。
- 2 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 3 \uparrow/\downarrow で「 (各種切換)」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 \uparrow/\downarrow で「自動S映像切換」を選び、決定ボタンを押す。
- 5 S2映像入力端子から入力された画像を見るとときは
 \uparrow/\downarrow で「入」を選び、決定ボタンを押す。
映像入力端子から入力された画像を見るとときは
 \uparrow/\downarrow で「切」を選び、決定ボタンを押す。
- 6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ビデオをつなぐ(つづき)

ビデオ機器の再生画像を見るための接続です。
ビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。



ビデオを見るには

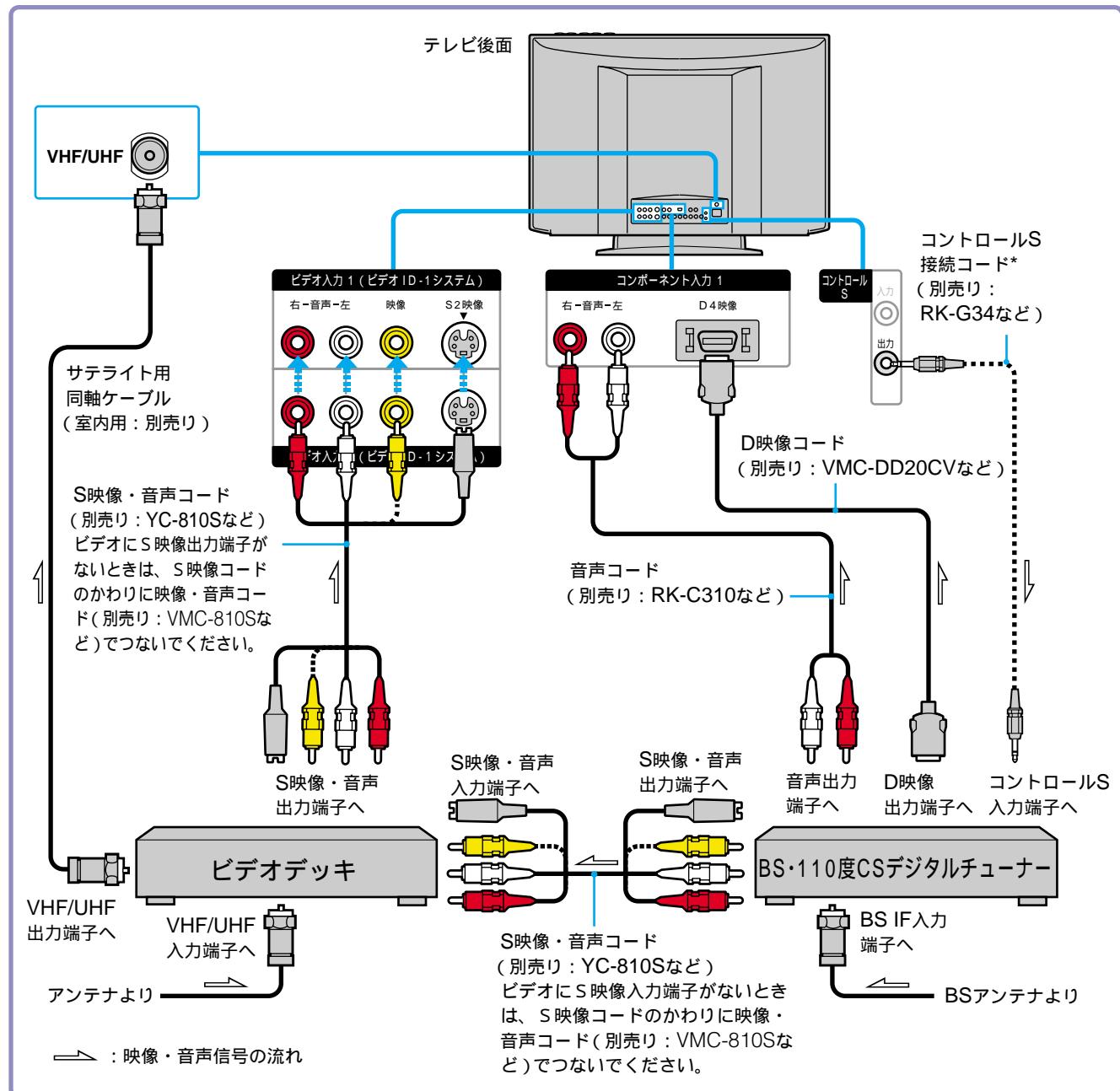
ビデオボタンを押して、ビデオをつなぎだビデオ入力1(「ビデオ1」)を表示させる。
詳しくは、☞13ページをご覧ください。

BS・110度CSデジタルチューナーをつなぐ

2000年12月から放送が開始されたBSデジタル放送や、2002年3月から放送が開始された110度CSデジタル放送を見るには、BS・110度CSデジタルチューナーが必要です。BS・110度CSデジタルチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

「 各種切換」メニューの「HDモード」を「HDモード：1080」に設定してください。

デジタルハイビジョン放送(HD放送)の有効走査線が1080本のためです。詳しくは、「映像信号フォーマットについて」(☞67ページ)をご覧ください。



BS・110度CSデジタル放送を見るには
コンポーネントボタンをくり返し押して、
BS・110度CSデジタルチューナーをつなぐだ
コンポーネント入力1(「コンポーネント1
(D4)」)を表示させる。
詳しくは、☞13ページをご覧ください。

他機との接続

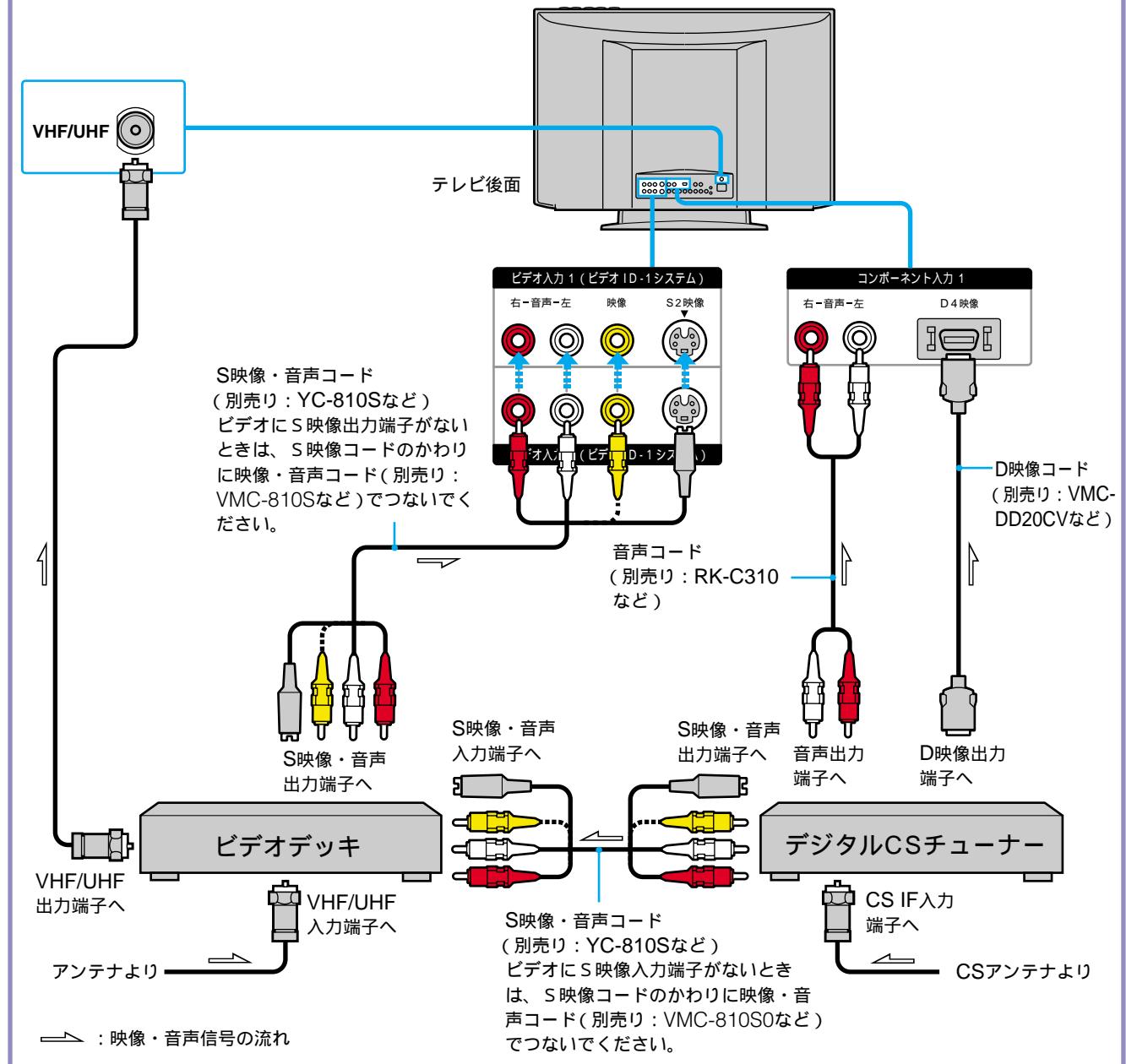
* ソニー製コントロールS入力端子付きのBS・110度CSデジタルチューナーをつなぐときの接続です。テレビの電源が入っているときや、STANDBY/SLEEPランプが赤く点灯しているときは、BS・110度CSデジタルチューナーのリモコンをテレビに向けてBS・110度CSデジタルチューナーを操作できます。テレビ本体の電源が入っていない(STANDBY/SLEEPランプが点灯していない)ときは、このような操作はできません。

デジタルCSチュー ナーをつなぐ

デジタルCS放送*を見るには、デジタルCS放送局との受信契約が必要です。詳しくは、デジタルCS放送局へお問い合わせください。
デジタルCSチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

* スカイパーカーフェクTV！のことです。110度CSデジタル放送ではありません。

D映像出力端子のあるデジタルCSチューナーのとき

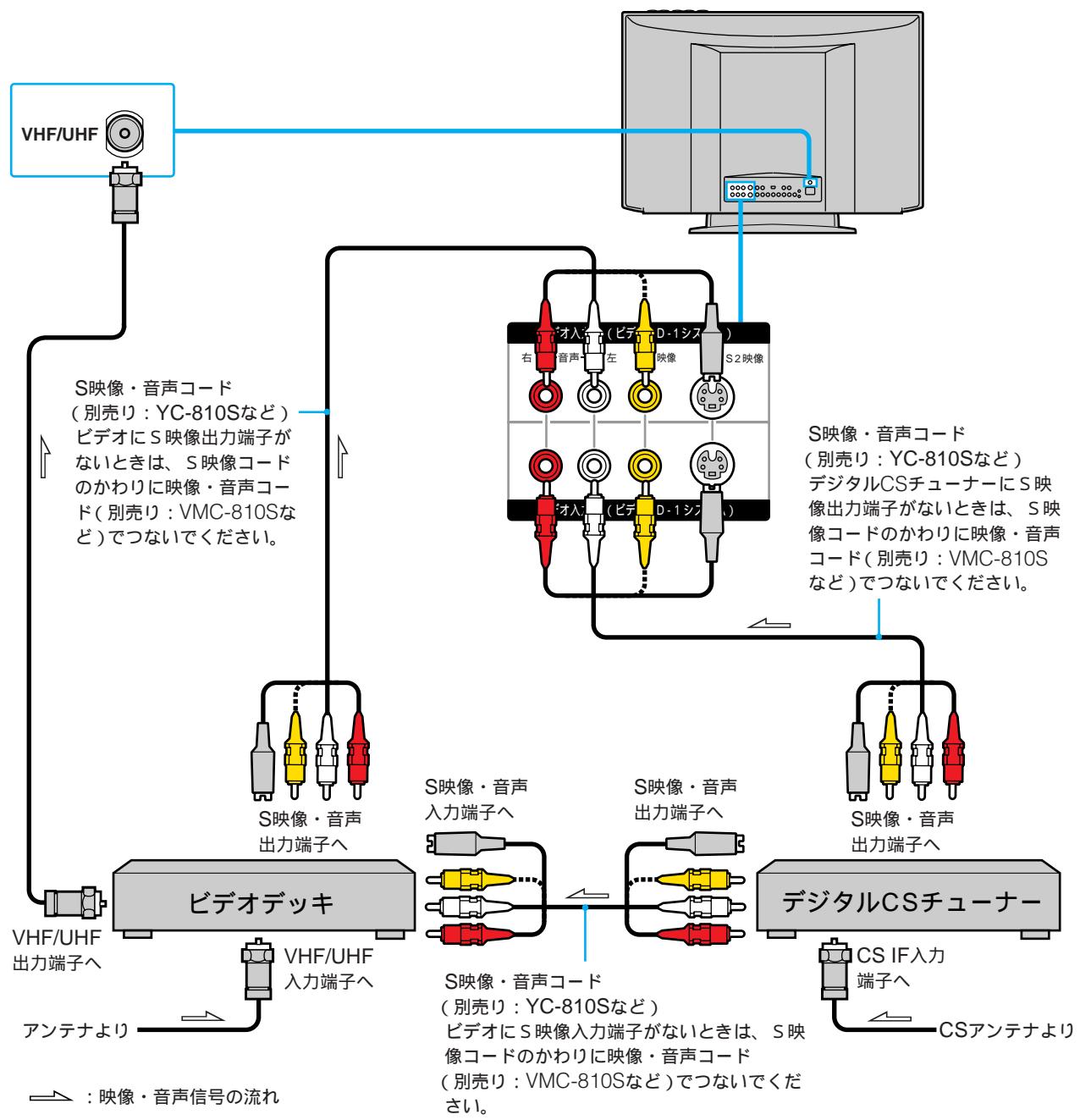


デジタルCS放送を見るには

コンポーネントボタンをくり返し押して、デジタルCSチューナーをつないだコンポーネント入力1（「コンポーネント1(D4)」）を表示させる。
詳しくは、[13ページ](#)をご覧ください。

D映像出力端子のないデジタルCSチューナーのとき

テレビ背面

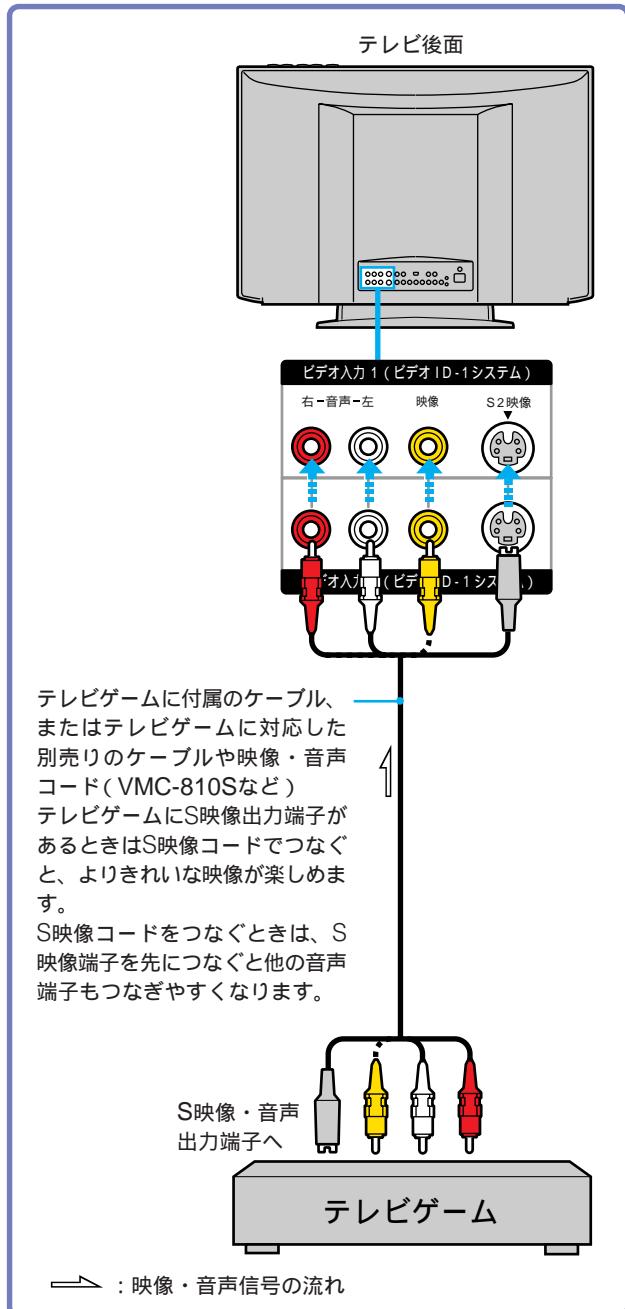


デジタルCS放送を見るには

ビデオボタンをくり返し押して、デジタルCSチューナーをつないだビデオ入力(「ビデオ1」または「ビデオ2」のいずれか)を表示させる。
詳しくは、[13ページ](#)をご覧ください。

テレビゲームをつなぐ

テレビゲームの取扱説明書もあわせてお読みください。



テレビゲームをするには

ビデオボタンをくり返し押して、テレビゲームをつないだビデオ入力('ビデオ1'または'ビデオ2'のいずれか)を表示させる。

詳しくは、☞13ページをご覧ください。

ご注意

- 電子的なライフルやガン(銃)などで標的にして楽しむシューティングゲームなどは、テレビの画面を使用できないことがあります。詳しくは、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
- ディスプレイの焼き付きを避けるため、ワイドズーム(☞12ページ)でお使いになることをおすすめします。

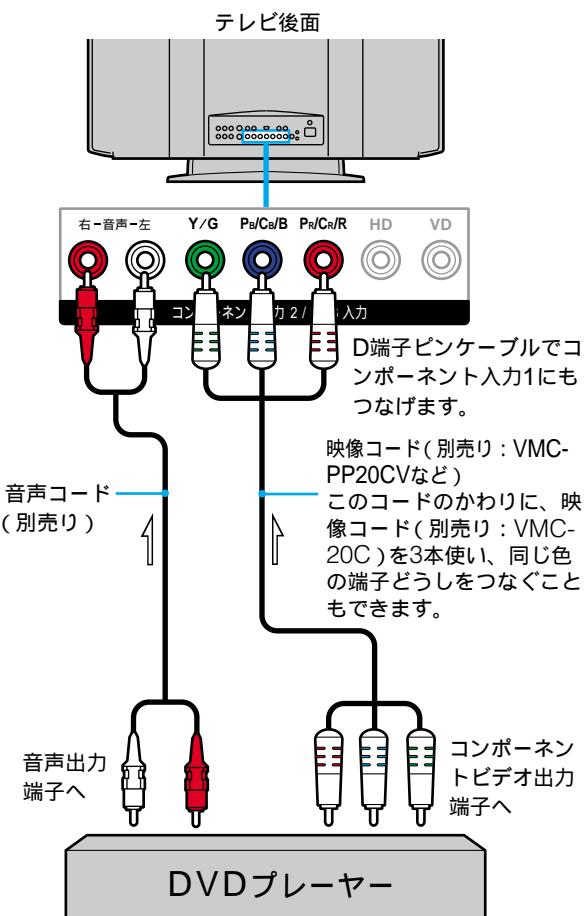
DVDプレーヤーをつなぐ

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーはテレビのコンポーネント入力端子につなぐと、より高画質の画像をお楽しみいただけます。

DVDプレーヤーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

コンポーネントビデオ出力端子にD端子のないDVDプレーヤーのときは

コンポーネントケーブルでつなぐとき



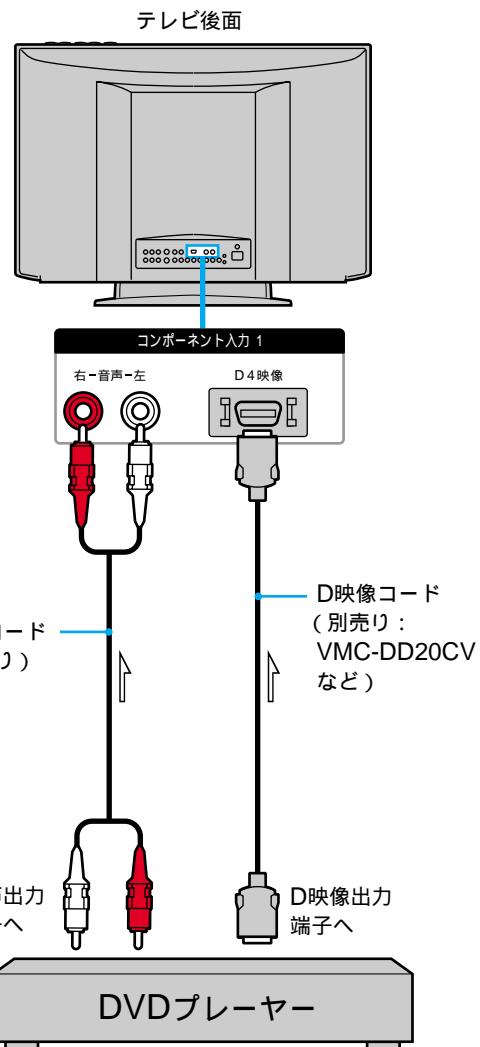
DVDプレーヤーのコンポーネントビデオ映像端子は、メーカーにより色や名前が異なります。右表のようにつないでください。

DVDプレーヤーの テレビの映像端子	
Y端子	Y/G端子
C _B 、B-Y、P _B 端子	P _B /C _B /B端子
C _R 、R-Y、P _R 端子	P _R /C _R /R端子

➡ : 映像・音声信号の流れ

コンポーネントビデオ出力端子にD端子のあるDVDプレーヤーのときは

D端子ケーブルでつなぐとき



➡ : 映像・音声信号の流れ

D映像コードのかわりに、映像コード(別売り: VMC-DP20CVなど)を使ってY/G端子、P_B/C_B/B端子、P_R/C_R/R端子とD端子をつなぐこともできます。

他機との接続

DVDを見るには

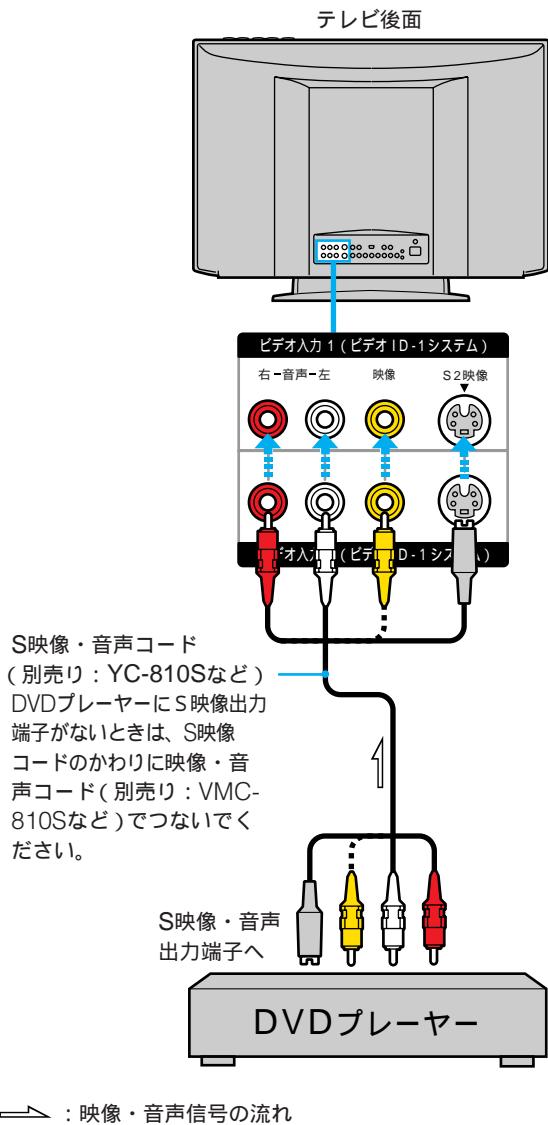
コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは

コンポーネントボタンをくり返し押して、DVDプレーヤーをつないだコンポーネント入力(「コンポーネント1(D4)」または「コンポーネント2」のいずれか)を表示させる。詳しくは、⑩13ページをご覧ください。

次のページにつづく

DVDプレーヤーをつなぐ (つづき)

コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのときは

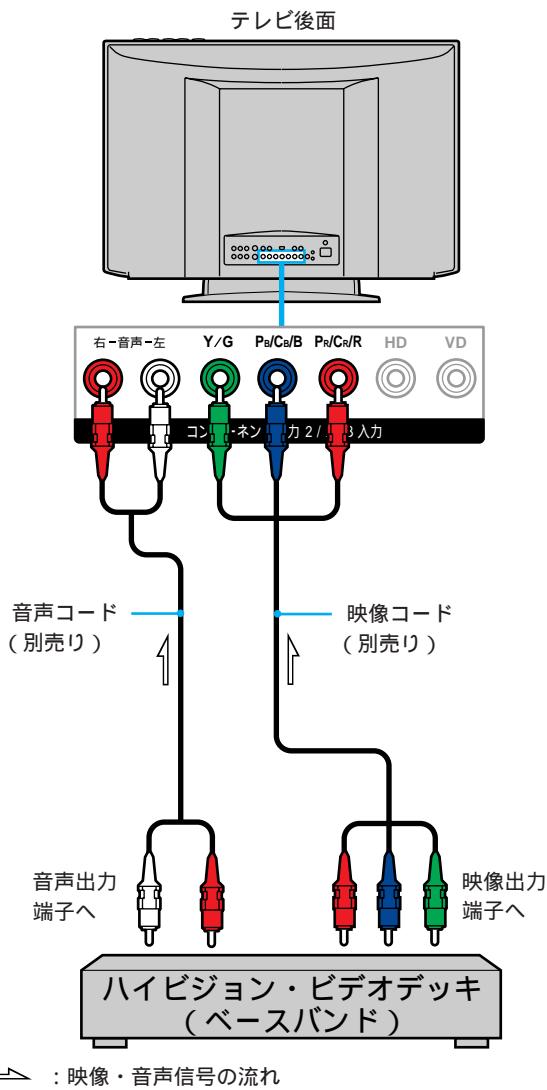


DVDを見るには

コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのときは
ビデオボタンをくり返し押して、DVDプレーヤーをつないだビデオ入力(「ビデオ1」または「ビデオ2」のいずれか)を表示させる。
詳しくは、[④13ページ](#)をご覧ください。

ハイビジョン機器 をつなぐ

ハイビジョン・ビデオデッキ(ベースバンド)をつなぐ



ハイビジョン・ビデオデッキ(ベースバンド)の映像を見るには

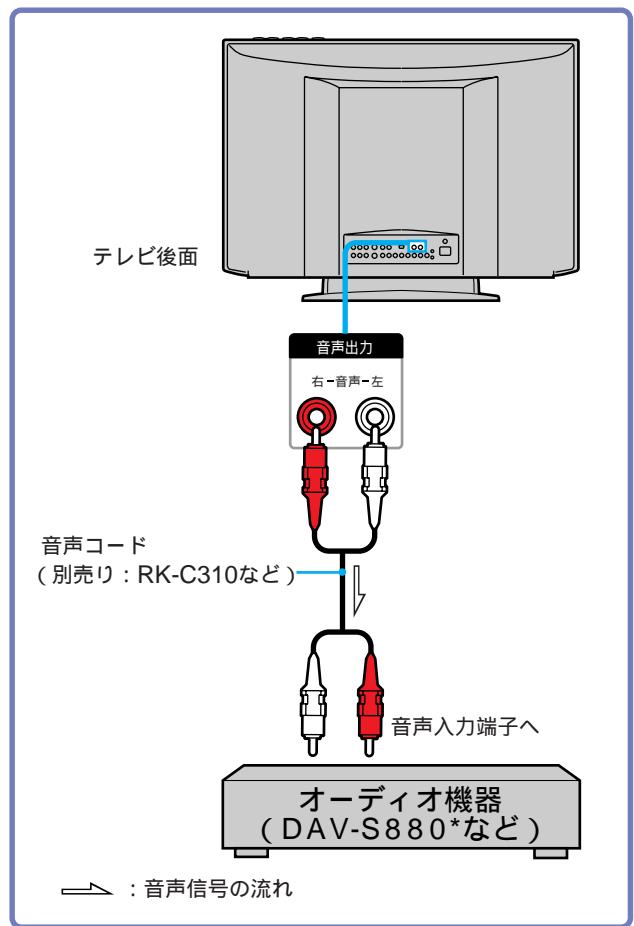
コンポーネントボタンをくり返し押して、ベースバンド機器をつないだコンポーネント入力2/RGB入力(「コンポーネント2」)を表示させる。詳しくは、[13ページ](#)をご覧ください。

「(各種切換)」メニューの「HDモード」を、「HDモード：1035」に設定してください。従来のハイビジョン(ベースバンド)が1035本になっているためです。詳しくは、「映像信号フォーマットについて」([67ページ](#))をご覧ください。

オーディオ機器をつなぐ

つないだオーディオ機器でテレビの音量を調整したり、つないだスピーカーからテレビの音声を聞いたりできます。

オーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



* 2003年1月現在の別売り製品です。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

オーディオ機器につないだスピーカーで音声を聞くときは「(各種切換)」メニューの「スピーカー」を「切」にしてください。本機での音量調節に関係なく、本機のスピーカーから音声が出なくなります。

ちょっと一言

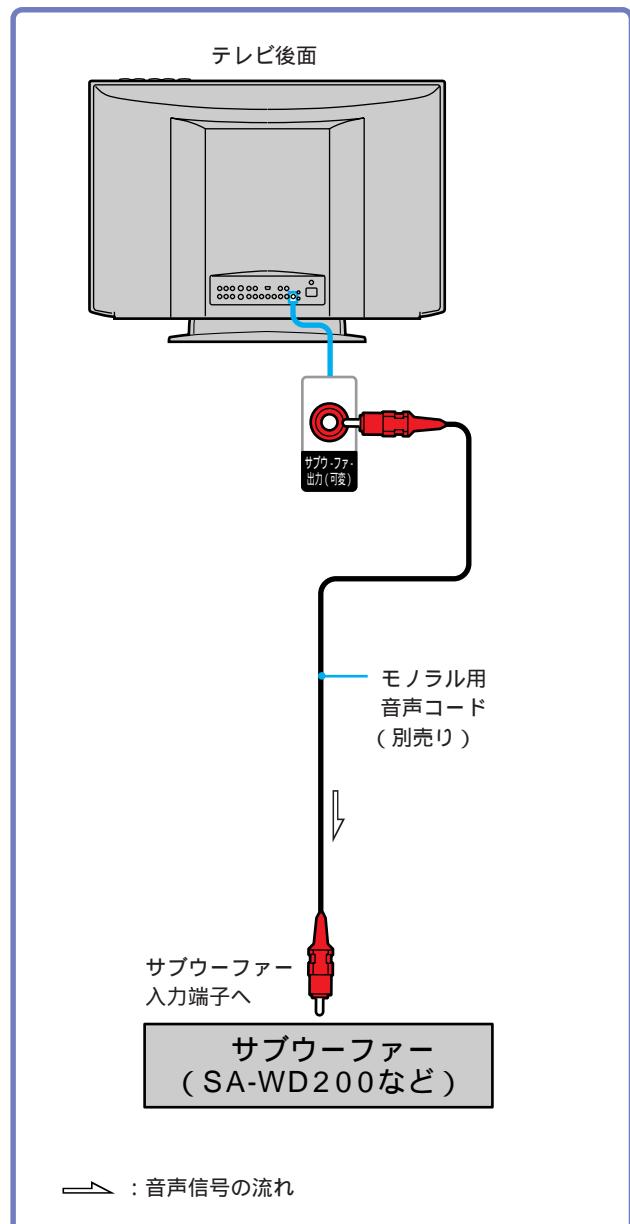
コンポーネント入力につないだ機器の音声信号も出力できます。ただし、映像信号は出力されません。

ご注意

テレビの音量や音質の設定を変えても、オーディオ機器の音量や音質の設定は変わりません。

サブウーファーをつなぐ

サブウーファーをつないで、迫力ある重低音を楽しめます。



その他

ここでは、テレビが正常に動かないときに解決する方法や、お手入れのしかたなどについて説明しています。
また、各部の名前や索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。



故障かな？ と思ったら

修理に出す前に、もう1度、点検をしてください。それでも、正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

テレビ本体の型名：

ケーラー ティーエス
KE-32TS2

画面サイズ(番号)がどれかわからないときは、保証書に記載されている型名をお知らせください。

リモコンの型名：

アールエム ジェイ
RM-922J

故障の状況：できるだけくわしく

購入年月日：

次のページにつづく

故障かな？と思ったら (つづき)

自己診断表示

このテレビには自己診断表示機能がついています。これはテレビに異常が起きたときに、STANDBY/SLEEPランプの点滅およびその回数でテレビの状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。

画面が消えたあと、STANDBY/SLEEPランプが点滅したら

下の手順に従って、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。ご相談の内容によっては、修理が必要な場合があります。

- 1 STANDBY/SLEEPランプの点滅回数を数えてください。3秒おきに点滅します。
たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅…この場合の点滅回数は2回です。



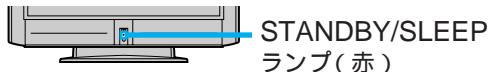
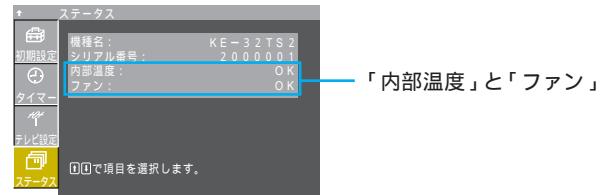
STANDBY/SLEEP
ランプ(赤)

- 2 テレビ本体のPOWERスイッチで電源を切り、電源コンセントを抜いてから、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に点滅回数をお知らせください。

画面が消えずに、STANDBY/SLEEPランプが点滅したら

下の手順に従って、「 (ステータス)」メニューで、「内部温度」と「ファン」を確認してください。

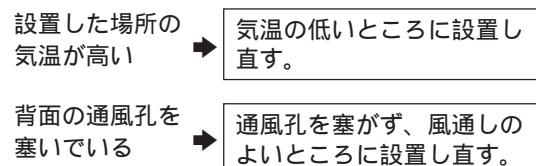
- 1 リモコンのメニューボタンを押して、メニューを出す。
- 2 /で「 (ステータス)」を選ぶ。



STANDBY/SLEEP
ランプ(赤)

「内部温度」が「NG」と表示され、STANDBY/SLEEPランプが赤く点滅しているときは

- 1 テレビ本体のPOWERスイッチで電源を切り、電源コードを抜く。
- 2 下記のように設置し直してから、電源を入れ直す。



STANDBY/SLEEPランプが点滅しなくなれば、そのままお使いいただけます。上記のように設置し直してもSTANDBY/SLEEPランプが点滅するときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にお問い合わせください。

「ファン」が「NG」と表示されているときは

- 1 テレビ本体のPOWERスイッチで電源を切り、電源コードを抜く。
- 2 お買い上げ店またはソニーサービス窓口にお問い合わせください。

テレビの症状と対処のしかた

症状	対処のしかた	
画像が出ない	すべてのチャンネルが映らない。 • 電源コードをしっかりつないでください。 • テレビ本体の電源を入れてください。 • アンテナ線をしっかりつないでください。	
	特定のチャンネルだけが映らない。 • チャンネルを合わせ直してください(☞39ページ)。	
	テレビの電源が突然切れた/いつのまにか消えていた(スタンバイ状態になった)。 • オフタイマーを設定していませんでしたか?(☞31ページ) • 電源タイマーを設定していませんでしたか?(☞32ページ) • パワーセービングを設定していませんでしたか?(☞28ページ)	
きれいに映らない	つないだ機器の画像が出ない。「入力信号がありません」という表示が出る、またはSTANDBY/SLEEP ランプ(赤色)が点灯している。 • 接続コードをしっかりつないでください。 • リモコンの入力切換用のボタンを押してください(☞13ページ) • S映像入力のときは、「  各種切換」メニューで「自動S映像切換」を「入」にしてください(☞49ページ)。	
	画像が二重、三重になる。 	• アンテナ線をしっかりつないでください。 • アンテナの位置、方向、角度を調整してください。 • 「  テレビ設定」メニューで「GR設定」を「入」にしてください(☞44ページ)。
	雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく。 	• アンテナが風でこわれたり曲がったりしていないか確認してください。 • アンテナの寿命を確認してください(通常3~5年、海辺では1~2年)。
	斑点や点模様が走る。 	• ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波の干渉を受けています。アンテナはなるべく道路から離して設置してください。
	色がつかない、色がおかしい、画面が暗い。 	• 画質モードボタンを押して、画質設定を選んでください(☞8ページ) • 「  画質/音質」メニューで、画質を調整してください。 • 「消費電力：減」のときは、画面が暗くなります(☞10ページ)。
	画面に光る点、または光らない点がある。  輝点・滅点	• フラットパネルテレビの映像は微細な画素の集合です。画面の一部に画素欠けや輝点が存在したり、画面の上下端、左右端に常に光らない部分がある場合がありますが、故障ではありません。
	電源を入れたとき、画面のちらつきやむらが見える。	• 電源を入れたときに画面に「むら」や「ちらつき」が見える場合がありますが、プラズマディスプレイの性質によるものであり、故障ではありません。
	画面がまぶしい。	• 画質モードボタンを押して、画質設定を選んでください(☞8ページ)
	縞状のノイズが多い。	• 付属のアンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。 • アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 • フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。

次のページにつづく

故障かな？と思ったら (つづき)

症状	対処のしかた	
きれいに映らない(つづき)	画像が乱れる、 雑音が混じる。	<ul style="list-style-type: none"> テレビの前面や真横に本機につないだ機器を設置していませんか？ テレビと他機の間隔をあけてください。
	ビデオの再生/録画時に縦縞状のノイズが出る。	<ul style="list-style-type: none"> ビデオヘッドが干渉しています。できるだけビデオをテレビから離して置いてください。 ビデオなどの機器をテレビに近付けて設置すると相互干渉でノイズが生じことがあります。30cm以上離して設置してください。 テレビの前面や側面に設置するのを避けてください。
	RGB入力を選択中に画面全体が緑色になる。	<ul style="list-style-type: none"> コンポーネント入力2/RGB入力端子にY、P_B/C_B、P_R/C_R信号が入力されています。リモコンのコンポーネントボタンを押して「コンポーネント2」を表示させてください。
	コンポーネント2入力を選択中に画面全体が赤みがかった色になる。	<ul style="list-style-type: none"> コンポーネント入力2/RGB入力端子にRGB信号が入力されています。リモコンのRGBを押して「RGB」を表示させてください。
音が出ない／雑音が多い	画像は出るが、音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 音量が下がりきっていないか確認してください。 画面に「消音」の表示が出ているときは、リモコンの消音ボタンか音量+ボタンを押して表示を消してください。 ヘッドホンを抜いてください。 「 (各種切換)」メニューの「スピーカー出力」を「入」にしてください。「切」のときは本機の音量調節に関係なく、本機のスピーカーから音声が出なくなります。
	雑音が多い。	<ul style="list-style-type: none"> 付属のアンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。 アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。 「 (初期設定)」メニューで「オートステレオ」を「切」にしてください。(25ページ) 赤外線コードレスヘッドホンなどの赤外線通信機器を本機の近くで使用すると通信障害が発生する場合があります。 赤外線コードレスヘッドホン以外のヘッドホンをご使用ください。 また、赤外線ヘッドホン以外の赤外線通信機器をご使用の場合は、ノイズが消える場所まで、赤外線の送受信機器を本機の画面から離すか、赤外線通信機器の送信部と受信部を近づけてご使用ください。
選べないが	メニューで選べない項目がある。	<ul style="list-style-type: none"> 薄く表示されている項目は選べません(見ている画像の種類やメニューの設定によって、選べないように制約されています)。

症状		対処のしかた
ワイド画面が切り換わる	オートワイドのときにワイド切換が勝手に切り換わる。	<ul style="list-style-type: none"> CMが入ったり番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。番組に最適なワイド画面をテレビが判断しているためです(☞11ページ)。 識別制御信号のある画像を受信して、自動的に信号に対応したワイド切換になるためです(☞11ページ)。 オートワイドが働いているときに、ワイド切換ボタンでワイド画面を切り換えていませんか。チャンネルや入力を変えたりするとオートワイドが動き、自動的にワイド画面に切り換わります。ワイド切換ボタンで切り換えたワイド切換で固定したいときは、「☞(画面モード)」メニューで「オートワイド設定」を選び、「オートワイド」を「切」にしてください(☞18ページ)。
テレビから異音がする	「ピシッ」というきしみ音が出る。	<ul style="list-style-type: none"> 周囲との温度差でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出ることがありますが、テレビに影響はありません。
	「ブーン」という音がする。	<ul style="list-style-type: none"> テレビ内部のファンが回っている音です。故障ではありません。 テレビの通気穴にホコリが付着すると、ファンの回転数が上がって音が大きくなり、冷却機能も低下させますので、掃除機などでホコリを取り除いてください。 高山地など気圧の低い場所(高度約1900m以上、気圧約800hPa以下)で使用すると、プラズマディスプレイパネルの構造上、ブーンという音(バズ音)が発生したり、画面が正しく表示されないことがあります。故障ではありません。
	電源を入れたときに「カチッ」という音がする。	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れたときに、内部の回路が働くため音がしますが、故障ではありません。
	「ジーッ」という音がする。	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れると、テレビの駆動音が聞こえることがあります。故障ではありません。
リモコンが働かない	リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> 電池を交換してください。 電池の$\oplus\ominus$を正しい向きに入れてください。 テレビ本体のSTANDBY/SLEEPランプが赤く点灯していないときは、テレビ本体のPOWERスイッチを押してください。 リモコンをテレビのリモコン受光部に正しく向けて、近くから操作してください。 リモコン受光部の近くに蛍光灯などの強い照明があたっているときは、照明があたらないように、照明器具またはテレビの位置を調整してください。
	リモコンのチャンネル数字ボタンを押しても、チャンネルが選べない。	<p>ダイレクト選局の場合(☞42ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「☞(テレビ設定)」メニューで「選局」が「ダイレクト」になっているかを確認してください。 <p>10キー選局の場合(☞42ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「☞(テレビ設定)」メニューで「選局」が「10キー」になっているかを確認してください。 11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押してくださいから、⑫_{選局}を押してください。 チャンネル数字ボタンに続けて⑫_{選局}を押してください。

ディスプレイのお手入れについて

ディスプレイのガラス表面の取り扱いについてのご注意

ディスプレイのガラス表面は反射による映り込みを抑えるため、特殊な表面処理を施しています。

誤ったお手入れをした場合、性能を損なうことがありますので、次のことを必ずお守りください。また、ガラス表面は傷つきやすいので固い物などでこすったり、たたいたり、物をぶつけたりしないでください。

ディスプレイのガラス表面のお手入れについてのご注意

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 長時間視聴した直後は、ガラス表面が熱くなっていますので、触れないでください。
- ガラス表面は特殊な表面処理をしているので、シールなどの粘着物は絶対に貼らないでください。
- ガラス表面は特殊な表面処理をしているので、なるべくガラス表面に触れないようにしてください。
- ガラス表面の汚れは、付属のクリーニングクロスを使って拭いてください。
- ガラス表面の汚れがひどいときは、付属のクリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を少し含ませて拭いてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどは、ガラス表面を傷めますので絶対に使用しないでください。

外装のお手入れについてのご注意

- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でから拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげるなど、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、絶対に使用しないでください。

保証書とアフターサービス

このテレビは日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」
にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。

その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名：KE-32TS2

故障の状態：できるだけくわしく

購入年月日：

お買い上げ店

TEL.

お近くのサービスステーション

TEL.

This television is designed for use in Japan only
and cannot be used in any other country.

主な仕様

システム

受信方式	NTSC方式
受信チャンネル	VHF 1~12チャンネル UHF 13~62チャンネル CATV C13~C35(ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要)
カラー方式 ^{*1}	NTSC3.58、NTSC4.43、SECAM、PAL、PAL60、M-PAL、N-PAL方式
表示方式	プラズマディスプレイパネル 32V型 ^{*2}
解像度(画素数)	水平852×垂直1024
画面寸法	71.6×39.9、82.0cm対角 (幅×高さ、対角径)
使用スピーカー	フルレンジスピーカー 13.5×5.5cm 楕円(2)
音声出力	実用最大： 7W+7W(JEITA)

^{*1} ビデオ入力、コンポーネント入力に接続されたビデオ機器などに対応した信号方式です。

^{*2} テレビのV型(32V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

入出力端子

アンテナ端子	VHF/UHF F型コネクター
ビデオ入力1、2端子	S2映像： 4ピンミニDIN Y: 1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 C: 0.286Vp-p(バースト信号) 75Ω 映像：ピンジャック、1Vp-p、 75Ω、不平衡、同期負 音声：ピンジャック、2チャンネル、 500mVrms、インピーダンス 47kΩ 以上
コンポーネント入力1端子	D4映像： Y: 1Vp-p(0.3V負同期付き) C _B /C _R : ±350mVp-p 入力インピーダンス 75Ω 音声：ピンジャック、2チャンネル、 500mVrms、インピーダンス 47kΩ 以上
コンポーネント入力2/RGB入力端子	映像：ピンジャック Y/G: 1Vp-p(0.3V負同期付き) P _B /C _B /B、P _R /C _R /R: ±350mVp-p 入力インピーダンス 75Ω 音声：ピンジャック、2チャンネル、 500mVrms、インピーダンス 47kΩ 以上 同期：ピンジャック、HD(水平)/COMP (コンポジット) VD(垂直) 1~5Vp-p、ハイインピーダンス

サブウーファー出力(可変)端子

ピンジャック

ヘッドホン端子

ステレオミニジャック

負荷インピーダンス16Ω 以上

コントロールS入出力端子

ミニジャック

電源部・その他

消費電力	300W
消費電力(リモコン待機時)	1.7W
最大外形寸法	85.6×62.7×13.2cm(幅×高さ×奥行き)
質量	約26.5kg
電源	AC100、50/60Hz
付属品	リモートコマンダー RM-922J(1) 乾電池 単4型(2) アンテナ接続ケーブル(1) 電源コード(1) 転倒防止金具(2) クリーニングクロス(1) 取扱説明書(1) 保証書(1) ソニーご相談窓口のご案内(1) 安全のために/安全点検のおすすめ(1)

別売りアクセサリー

2003年1月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

テレビスタンド SU-32TS2
ステレオヘッドホンプラグアダプター PC-L42S
接続ケーブルなど

- このテレビは「高調波ガイドライン」適合品です。「高調波ガイドライン」適合品とは、通商産業省・資源エネルギー庁の定めた「家電・汎用高調波抑制対策ガイドライン」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルを考慮して設計・製造した製品です。
- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります
が、ご了承ください。

用語集

五十音順

ア行

インターレース(飛び越し走査)
走査線525本のうち、まず奇数番目の走査線(262.5本)を1/60秒かけて描き(この1画面を1フィールドという)、次にその間を埋めるように偶数番目の走査線(262.5本)を描き、合わせて走査線525本の1枚の完全な画面(フレーム)を作っていく飛び越し走査のことです。

力行

ケーブルテレビ(CATV)
契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。通常のテレビ番組やBS放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

ゴースト

放送局からの電波が、テレビアンテナに届く前に、建物や地形の影響で妨害波となり、時間がズレて二重、三重に受信されることです。そのため、正しく送られてきた画像に妨害波の画像が重なって表われた、見ににくい画面となります。

サ行

三次元Y/C分離回路
テレビで使っている回路の1つで、映像信号を構成するY信号とC信号を別々に処理し、より鮮明な画像を再現します。

識別制御信号

識別制御信号とは、オリジナル映像の横縦比をテレビで忠実に再現するためのコントロール信号です。この信号を含んだ映像には、次のものがあります。

- ワイドクリアビジョン放送
- 横縦比情報の入ったビデオカメラなどの記録映像(ID-1方式やS2方式)
- 横縦比を4:3にする信号が入ったテレビ放送
- D4入力端子からの横縦比情報の入った映像

シネマビジョン

画面の横縦比が2.35:1になっている映像ソフトのことです。一般的には黒帯に字幕が入る映画などに使われています。

タ行

チューナー

電波を受信して各チャンネルに合わせるための機器です。このテレビはテレビチューナーを内蔵しています。

デジタルCS放送

スカイパーエクTV!のことです。通信衛星を使ったCS放送の一種で、110度CSデジタル放送ではありません。従来のアナログCS放送とは違い、映像や音声をデジタル化することで、大量の情報を扱えます。これにより、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。

ハ行

ピスタビジョン

画面の横縦比が1.85:1になっている映像ソフトのことです。一般的には画像の中に字幕が入る映画などに使われています。

プログレッシブ(順次走査)

飛び越し走査(「インターレース」の項目を参照)をしないで、1フレーム目で525本全部の走査線を順番どおりに描き、次のフレームも同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

数字・アルファベット順

110度CSデジタル放送

2002年3月から始まった、110度デジタル衛星N-SAT-110によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質な放送などがあります。110度CSデジタル放送を受信するには、別途BS・110度CSデジタルチューナーが必要となります。

BSデジタル放送

2000年12月から本放送が開始された放送衛星を使って、デジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV(高精細度テレビ)や、また文字や画像などのデータ放送、CD並みの高音質なラジオ放送などがあります。BSデジタル放送を受信するには、別途BSデジタルチューナーや、BS・110度CSデジタルチューナーが必要となります。

D端子

BS・110度CSデジタル放送、デジタルCS放送およびDVDプレーヤーなどに対応したコンポーネント映像端子です。BS・110度CSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、DVDプレーヤーなどと、1本のケーブルで簡単に映像信号を接続できます。コンポーネント映像で接続するため、より高画質な画像を楽しめます。

D端子には対応する信号フォーマットによって、次の種類があります。

本機にはD4入力端子が付いてます。

- D1端子 : 525i(480i)の信号に対応
- D2端子 : 525i(480i)と525p(480p)の信号に対応
- D3端子 : 525i(480i)と525p(480p)、1125i(1080i)の信号に対応
- D4端子 : 525i(480i)と525p(480p)、1125i(1080i)、750p(720p)の信号に対応

iはインターレース、pはプログレッシブの略です。

()内は有効走査線数で数えたときの別称です。

ID-1方式(ビデオID-1システム)

ビデオ信号の一部にデジタルのID信号を加算することにより、画面の横縦比(16:9、4:3またはレターボックス)の情報を記録するシステムの名前です。このテレビはID-1方式に対応しています。ID-1方式対応のビデオカメラやビデオデッキなどを、テレビのビデオ入力1、2端子につなぐと、ID-1方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

NTSC方式

日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式で、毎秒30コマ、水平走査線数525本などが特長です。アメリカの連邦テレビジョン方式委員会(National Television System Committee)が制定し、1954年に放送が正式に開始されました。欧州や中国などで使われているPAL方式やSECAM方式とは互換性がありません。

S2方式(S2映像)

S映像のC端子へ直流電圧を重畠することにより、画面の横縦比(16:9または4:3)の情報を記録するシステムの名前です。

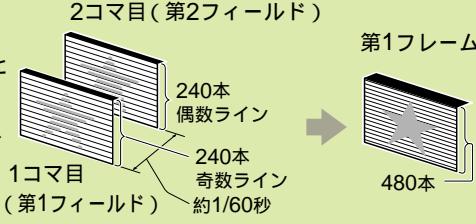
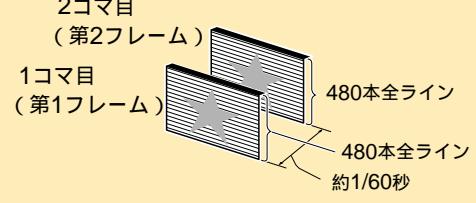
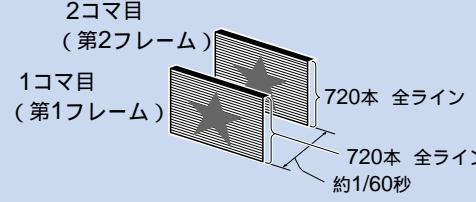
縦長に圧縮された画像は「フル」モードに、レターボックスの映像は「ズーム」モードに自動的に戻す識別制御信号が入っています。

このテレビはS2方式に対応しています。S2映像出力端子が付いたビデオカメラなどを、本機のS2映像入力端子につなぐと、S2方式の画像となります。

ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

映像信号フォーマットについて

日本国内の映像信号フォーマット(画像方式)は、走査線数と走査方式によって、以下の4種類があります。

映像信号フォーマット	映像の種類	対応するD端子
<p>525i(480i) 525本(480本)の走査線を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す(飛び越し走査:インターレース方式)映像信号です。通常のテレビ放送(VHF/UHF)の信号です。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 通常のテレビ放送(VHF/UHF) ビデオ入力1、2の映像 コンポーネント入力1*、コンポーネント入力2/RGB入力の以下の映像 <ul style="list-style-type: none"> デジタル標準テレビ放送(525i) デジタルCS放送 DVDプレーヤーの映像 	D1端子 D2端子 D3端子 D4端子
<p>525p(480p) 525本(480本)全部の走査線を順番どおりに描く(順次走査:プログレッシブ方式)映像信号です。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> コンポーネント入力1*、コンポーネント入力2/RGB入力のデジタル標準テレビ放送(525p) コンポーネント入力1*、コンポーネント入力2/RGB入力のDVDプレーヤーの映像(プログレッシブ出力映像) 	D2端子 D3端子 D4端子
<p>1125i(1080i) 1125本(1080本)の走査線を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す(飛び越し走査:インターレース方式)映像信号です。現行のハイビジョン放送は、有効走査線数が1035本です。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> コンポーネント入力1*、コンポーネント入力2/RGB入力のデジタルハイビジョン放送(1125i) コンポーネント入力1*、コンポーネント入力2/RGB入力の従来ハイビジョン機器の映像(ベースバンド) 	D3端子 D4端子
<p>750p(720p) 750本(720本)全部の走査線を順番どおりに描く(順次走査:プログレッシブ方式)映像信号です。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> コンポーネント入力1*、コンポーネント入力2/RGB入力のデジタルハイビジョン放送(750p) 	D4端子

↑()内は有効走査線数で数えたときの別称です。また、iはインターレース(飛び越し走査) pはプログレッシブ(順次走査)の略。

↑つないだ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。特に、BS・110度CSデジタルチューナーの出力設定については、BS・110度CSデジタルチューナー側の取扱説明書をご覧ください。

* コンポーネント入力1はD端子からの映像です。

走査線・有効走査線数

テレビ映像の動画は1秒間に60枚の静止画を連続して表示することにより再現します。それぞれの静止画は多数の線の集合としての面として描かれており、この線のことを走査線と呼びます。走査線の数は映像信号フォーマットごとに決まっており、走査線の数が多いほどきめ細かい高精細な映像と言えます。通常のテレビ放送の走査線数は525本、ハイビジョン放送では1125本となっています。この走査線の中には映像信号のほかにさまざまな識別制御信号なども含まれており、全走査線数中の映像信号の走査線数を有効走査線数と呼びます。通常のテレビ放送の有効走査線数は480本、従来のハイビジョンでは1035本、デジタルハイビジョンでは1080本となっています。

フラットパネルテレビの表示方式

ブラウン管方式のトリニトロンテレビの場合、左から右へ流れる電子ビームを上から下へ送ることで画面を作り、映像信号の走査線数に合わせて電子ビームが作る走査線数も変わります。これに対してフラットパネルテレビでは、PDP(プラズマ・ディスプレイ・パネル)や液晶などの固定ピクセルデバイスを採用しており、テレビが表示する走査線数はパネルによって固定的に決められています。そのためすべての映像信号は、スケーラーと呼ばれる解像度変換回路によって、パネルと同じ走査線数に変換して表示します。

D端子(コンポーネント入力1)

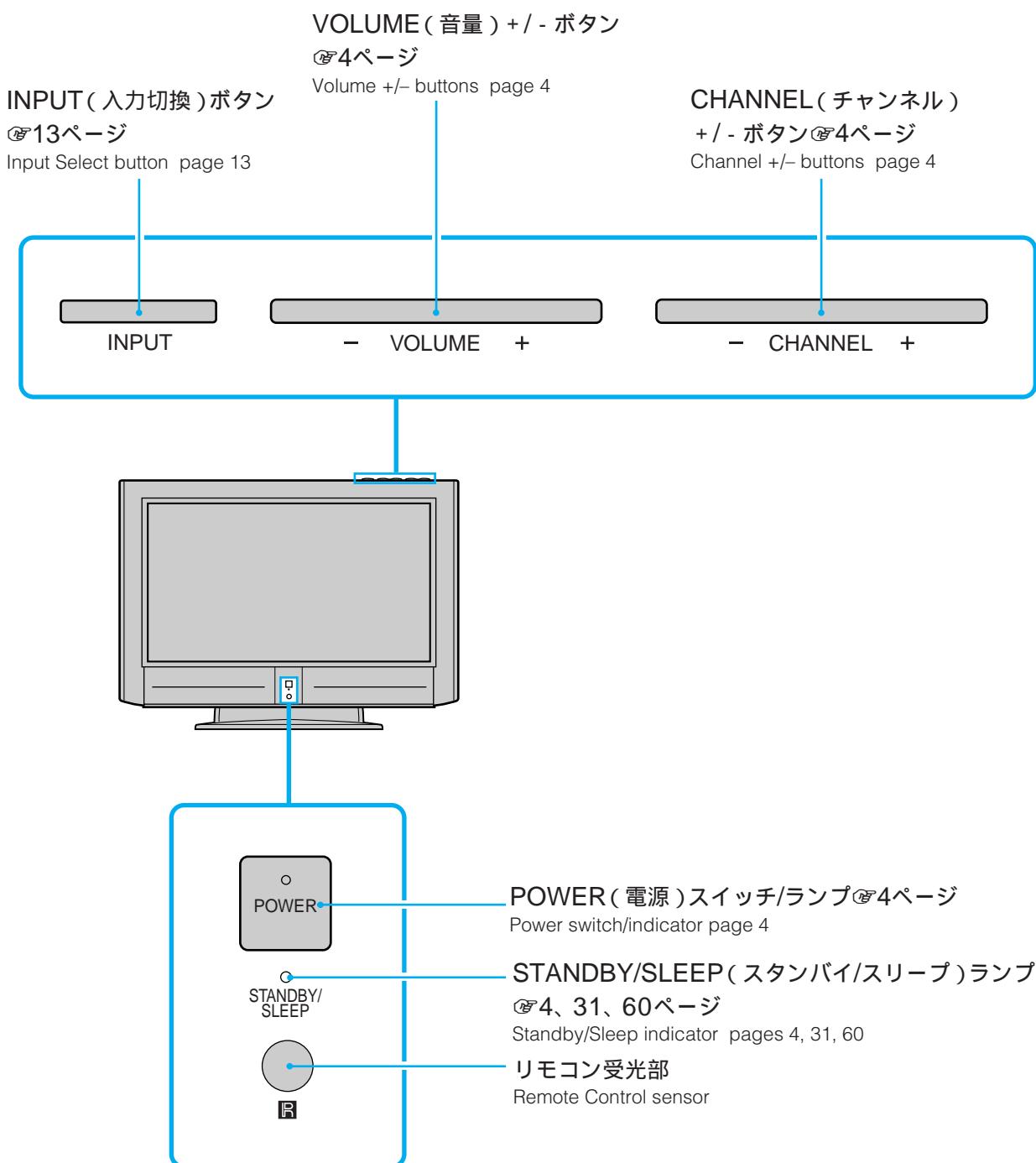
BS・110度CSデジタル放送、デジタルCS放送およびDVDプレーヤーなどに対応したコンポーネント映像端子です。BS・110度CSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、DVDプレーヤーなどと、1本のケーブルで簡単に映像信号を接続できます。コンポーネント映像で接続するため、より高画質な画像を楽しめます。

このテレビにはD4入力端子(コンポーネント入力1)が付いています。

各部の名前/

Identifying parts and controls

テレビ前面/TV Front Panel



リモコン/Remote Control

画面表示ボタン[☞]4ページ

Display button page 4

消音ボタン[☞]4ページ

Muting button page 4

入力切換用ボタン[☞]13ページ

ビデオボタン

コンポーネントボタン

RGBボタン

Input Select buttons page 13

Video button

Component video button

RGB button

画質モードボタン

[☞]8ページ

Picture Mode button page 8

ワイド切換ボタン

[☞]12ページ

Wide Mode Select button page 12

▲/▼/◀/▶/決定ボタン

[☞]9ページ

▲/▼/◀/▶/Select page 9

音量 + / - ボタン[☞]4ページ

Volume +/− buttons page 4

二重音声ボタン[☞]25ページ

Audio Mode (Bilingual) button page 25

電源ボタン[☞]4ページ

Power button page 4

オフトイマー ボタン[☞]31ページ

Sleep button page 31

メニュー ボタン[☞]9ページ

Menu button page 9

消費電力ボタン[☞]10ページ

Power Saving button page 10

チャンネル数字 ボタン*

[☞]4ページ

Channel Number buttons page 4

チャンネル + / - ボタン*

[☞]4ページ

Channel +/− buttons page 4



ちょっと一言

* チャンネル数字の「5」ボタンとチャンネル+ボタンには、凸点(突起)が付いています。操作の目印として、お使いください。

メニュー一覧

画質/音質
 (☞ 9、21、24、26 ページ)

音質調整
 (☞ 9、24 ページ)

画面モード
 (☞ 18、20、27 ページ)

各種切換
 (☞ 14、27 ページ)

初期設定
 (☞ 28 ページ)

画質調整
 (☞ 21、22、26 ページ)

音質調整
 (☞ 29、32 ページ)

オートワイド設定
 (☞ 18 ページ)

スクリーンセーバー
 (☞ 27 ページ)

各種切換
 (☞ 29 ページ)

電源
 (☞ 30 ページ)

時刻設定
 (☞ 29 ページ)

電源タイマー
 (☞ 32 ページ)

チャンネル設定変更
 (☞ 40~42、44 ページ)

GR設定
 (☞ 44 ページ)

各種切換
 (☞ 29 ページ)

テレビ設定
 (☞ 39、43、44 ページ)

チャンネル表示書換
 (☞ 41 ページ)

ステータス
 (☞ 28、60 ページ)

- メニューはリモコンのメニューボタンを押すと表示され、**↑/↓/←/→**で選び、決定ボタンまたは**→**で決定します。ただし、**→**で決定できないメニューもありますのでご注意ください。
- 黄色で表示される部分が選ばれています。
- 薄く表示される部分は選べません。

索引

五十音順

あ行

衛星放送	BS・110度CSデジタル放送参照
オーバーステレオ	25
オートワイド	11、16
切る	18
設定する	18
オフタイマー	31
音質調整	9、23

か行

各部の名前	68
画質調整	21、26
画質モード	8
画像位置調整	19
画像サイズ調整	19
カラー方式	28
カラーマトリクス	27
クローズドキャブション	14
ケーブルテレビ	40
ゲーム	54
コントロールS端子	51
コンポーネント	51~52、55~57

さ行

サラウンド	9
時刻設定	29
自己診断表示	60
字幕入り	11
主音声	25
消音	4
消費電力	10
ズーム	11
ズームサイズ	27
スクリーンセーバー	27
ステータス	27、28
スピーカー	57
スリープ	31

接続する

オーディオ機器	57
端子の名前とはたらき	46
デジタルCSチューナー	52
テレビアンテナ	37
テレビゲーム	54
ビデオ機器	49
BS・110度CSデジタルチューナー	51
DVDプレーヤー	55

設定する

選局方法	42
チャンネル	39
S映像切り換え	49
節電	10

た行

ダイレクト選局	42
チャンネル合わせ(設定)	39
自動設定	39
手動設定	41
ダイレクト選局	42
10キー選局	42
チャンネル表示書き換え	41

調整

音質調整	9、23
画質調整	21
ワイド画面	19
デジタルCS放送	52
テレビ(地上波)アンテナの接続	37
テレビゲーム	54
電源タイマー	32
同期モード	27
時計表示	29
ドット調整	27

な行

二重音声	25
入力切換	13
ノーマル	11

は行

パワーセービング	28
バンド切換	40
ビデオ	
接続する	49~50
見る	13
副音声	25
付属品	36
フル	11

ま行

メニュー一覧	70
メニューキー動作	28

ら行

リモコン	
各部の名前	69
電池を入れる	36

わ行

ワイド切換	12
ワイドズーム	11

数字・アルファベット順

数字

10キー選局	42
--------	----

アルファベット

BS・110度CSデジタル放送	51
CATV	40
D端子	47、51、52、55、66、67
DVDプレーヤー	55
GR(ゴースト・リダクション)	44
HDモード	27
RGBモード	27
S映像切り換え	49
VHF/UHFアンテナ	37
VHF/UHFのチャンネル設定	39

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル* **0570-00-3311**

(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は* **03-5448-3311**

(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

● FAX **0466-31-2595**

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし、内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

1：修理受付

2：使用方法や故障と思われるご相談

3：お買物相談

4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般

5：その他のご相談

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

<http://www.sony.co.jp/>



この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性
有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。